

機業關係著書・論文・目錄

國史關係

(著書)

日本マニユファクチュア史論 一册

服部之總

信夫清三郎 著 昭一二・五 育生社

日本近代技術史 一册

山本三郎著 昭一五・八 三笠書房

本邦綿糸紡績史 四册

絹川太一著 昭一二・六一四・二 日本綿業俱樂部

綿業俱樂部

日本綿糸紡績業史年表 一册

橋本幸彦著 昭一・四 文化史年表製作研

究室

紡績懷舊談 一册

岡村勝正口述 昭七・四 日本綿業俱樂部

紡績懷舊談 一册

高木修一口述 昭七・六 日本綿業俱樂部

日本人絹發達史 上卷 一册

日本人絹聯合通信社編 昭十・十一

日本染織商工史 一册

泉 俊秀著 昭八・十一 商業研究資料編

纂所

明治染織經濟史—織物業に於ける産業革命—

一册 服部之總・信夫清三郎著 昭十二・

五 白揚社

染織五十年史・協會業績史 一册

大日本織物協會編並發行 昭十二・五

西陣史 一册

佐々木信三郎著 昭七・九 藝艸堂

桐生織物史 三册 上、昭十・三、中、昭十

三・十二、下、昭十五・六

桐生織物史編纂會編 桐生織物同業組合

尾西織物史 一册

森徳一郎編 昭十四・四 尾西織物同業組

合

小千谷縮布考 一册

西脇新次郎編並發行 昭七・五

小千谷縮布史 一册

西脇新次郎著 昭十・五 小千谷縮布史刊

行會

日本莫大小史 一册

藤本昌義著 昭九・八 栗山安平商店

本邦タオル工業史 一册

岡本彰一著 昭十・七 日本タオル工業組

合聯合會

和歌山綿糸工業研究 一册

和歌山高商産業研究部編 昭十三・一 甲

文堂

京鹿の子綵の調査 一册

京都商工會議所編並發行 昭十五・二

京友禪に關する調査 一册

同 昭十五・三

生糸貿易之變遷 一册

橋本重兵衛著 明三五・十二 丸山 舍

明治蠶業大事紀 一册

石田孫太郎著 大元・十二 大日本蠶糸學會

蠶糸業發達史料 一册

長野縣蠶業試驗場松本支場編並發行 昭四

・四

日本蠶糸業史 五册

大日本蠶糸會編並發行 昭一〇・四—六

近代蠶糸業發達史 一册

明石 弘著 昭一四・八

開港と生糸貿易 三册 明文堂

藤本實也著 昭一四・七一〇 開港と生

糸貿易刊行會

信濃蠶糸業史 三册

江口善次・日高八十七共編 昭一二・六

大日本蠶糸會信濃支部

福井縣蠶糸業沿革史 一册

大日本蠶糸會福井支會編並發行 大六・一

一

山口縣蠶糸業史 一册

青木光雄編 昭一二・一一 同 社

西陣機業沿革調査書

大日本蠶糸會山口支會・山口縣養蠶組合聯合會編並發行 昭七・一一

レヨン及ステープルファイバの沿革と現況並に當社の十五年史 一册

東京稅務監督局 明三八  
織物の西陣(京都叢書8)

南多摩郡蠶糸業史 一册

東洋レヨン株式會社滋賀工場編並發行 昭一五・四

佐々木信三郎著 昭二二 高桐書院

同郡養蠶組合聯合會編並發行 昭二・五

大日本織物二千六百年史 二册

西陣織物詳説

何鹿郡蠶糸業史

日本織物新聞社

帝國圖書館所藏稿本  
足利織物沿革誌

何鹿郡蠶糸同業組合編並發行 昭八・三

紡績界二六〇〇年史

荒川宗四郎著 明三五・九 兩毛實業新報社

蠶糸業同業組合中央會史 一册

中島勝二郎著 昭一五

日本紡績通信社

伊勢崎織物同業組合史

蠶糸業同業組合中央會清算事務所編並發行 昭七・六

日本蠶糸業發達史(上)

生 活 社

伊勢崎織物同業組合編並發行 昭六・一一

西陣織物同業組合沿革史 一册

高橋經濟研究所編

慶應書房

工業視察紀要織物之部  
農商務省 明廿九

大槻喬編 昭一四・四 同組合清算事務所

日本綿業發達史

慶應書房

西陣織物同業組合編並發行 昭一二・九

五十年史 一册

三瓶孝子著

慶應書房

西陣織物同業組合編並發行 昭一二・九

福井縣織物同業組合編並發行

日本ガラ紡史話

慶應書房

西陣共營組編並發行 大二三・一〇

米澤織物同業組合史 一册

中村 精著

慶應書房

米と蘭の經濟構造(再版)

今非清見著 昭一五・六 同組合

マニユフアクチュア論

慶應書房

山田勝次郎著 昭二〇(二一) 岩波書店

十日町織物同業組合史 一册

信夫清三郎著 昭二四

河出書房

近代日本産業史序説

同組合編並發行 昭一五・一〇

日本紡績史

河出書房

信夫清三郎著 昭十七(再二一) 日本評論社

創立二十年記念東洋紡績株式會社要覽 一册

假島幡司著 昭二四

創元社

德川封建經濟の研究

同社編並發行 昭九・六

西陣機業における原生的産業革命の展開(現代歴史學論叢4)

高橋龜吉著 昭一六・一一 東洋書館

内外綿株式會社五十年史 一册

服部之總著 昭二三

高桐書院

近代産業史研究(京都經濟學會研究叢書第一册)

帝國製麻株式會社三十年史 一册

西陣研究

高桐書院

堀江英一著 昭二三・九 日本評論社

同社編並發行 昭一二・一〇

本庄榮治郎著 大三・七

改造社

綿糸紡績業の史的的研究 一册

京都織物株式會社五十年史 一册

訂改版)

改造社

綿糸紡績業の史的的研究 一册

名和統一著 昭二四 湖流社  
紡績生産費分析 一册

守屋典郎著 昭二四 日本評論社  
我國近世の專賣制度(日本經濟史研究所研究叢書第一册)

堀江保藏著 昭八・八 日本評論社  
西陣織物沿革提要(和本)

山岡景命詳 明廿四 寺島久治郎  
西陣織屋糸仲買願書寫(寫本)

京大國史研究室寫 大八・七  
西陣高機舊記

京大國史研究室騰寫 大六 原本西陣堀川頭  
伊達彌助氏所藏

京大國史研究室影寫  
安政六年京都糸尾織尾陳情書案

同  
糸方借金銀高覺帳

同  
重要産業の回顧(日本經濟史研究所經濟史話叢書第三册)

日本銀行京都支店編 大三・六 調査局  
西陣の栞

西陣織物同業組合編 大四・一〇 西陣織物同業組合

西陣織物統計表(大元・二)  
西陣織物同業組合(事務所)編 大二・一〇(大三・四)同組合

西陣織物生産額其他統計表(大五四)(西陣二ノ四附錄)

西陣織業同業組合調査 大五・四 西陣新興會

綿糸紡績事情參考書(第一次―第七十五次及昭和廿二年度上半期)

日本紡績聯合會(日本紡績同業會調査部)編並發行 大三―昭二二

綿糸紡績職工事情 農商務省商工局編並發行 明三六・三

同  
史學雜誌 一七ノ四  
寛政年間に於ける毛布染織所設立の計面に關する文書 齊藤 阿具

同 四三ノ一二  
幕末開港期に於ける生糸貿易の展望 丸山 國雄

同 五一ノ八・九・一〇  
本邦木綿機業成立の過程中世織維工業史の一節 小野 晃嗣

同 五一ノ八・一〇  
本邦木綿機業成立の過程(一一三) 小野 晃嗣

同 一一ノ一五  
白糸割符考 横井 時冬

同 五九ノ一  
荷受問屋資本の生産地下投下の諸形態―京都和糸問屋の場合― 森岡 美子

史林 一ノ三  
岐阜縣産業史 神谷保明編

同 一一ノ四(昭二)  
西陣撰糸仲買仲間の研究―本庄博士「西陣研究」の批判― 澤田 章

同 一一ノ三(昭三)  
馬鳴信仰と養蠶機織 播川 正

同 四ノ一(明三五)  
歴史地理 臺灣の椰子と青海の綿 喜田 貞吉

著書論文目錄

同 二五ノ二 (大四)

サラサの語源について

同 二五ノ四 (大四)

三百年以前連綿たる近江の三工業家

同 三一ノ三 (大七)

木綿の種類及傳來

同 五〇ノ二・三 (昭二)

京羽二重と江戸鹿子

同 六三ノ二 (昭九)

三條西家と越前青亭座の活動

同 七三ノ一 (昭一四)

吳綿考―中世織維工業史への脚註

歴史と地理七ノ六 (昭一八)

明石國助氏著「上代日本染織史」

同 一ノ三 (昭一八)

縮の歴史

歴史學研究 一ノ四 (昭九)

日本マニユファクチュア圖説

同 六ノ一一 (昭一一)

富岡製糸場設立とその初期の状態

山本 鏡治

久留米絨の生産形態

同 五ノ八・一一・一二 (昭一一)

藤田 明

同 一二・一・二三 (昭二一)

日本農家における自給經濟生活の史的展開

齊藤 阿具

同 一二六 (昭二二)

糸割符の展開―續國と商業資本―

中川 泉三

同 一二七 (同)

「分散マニユファクチュア論」批判

大森金之助

歴史評論 四ノ三 (昭廿五)

維新史に於けるマニユファクチュアの問題

小野 晃嗣

歴史科學 四ノ三・五・八 (昭一〇)

幕末秋田藩の木綿市場及び木綿機業

小野 晃嗣

同 四ノ四 (昭一〇)

伊達信夫蠶業發達史序論

魚澄惣五郎

同 四ノ一〇・一二 (昭一〇)

日清戰爭を轉期とする本邦綿糸紡績業の發展過程

藤田 元春

同 五ノ六 (昭一一)

日露戰爭を轉期とする本邦綿紡業の發展

土屋 喬雄

歴史 四・五 (昭二二)

始祖三紡績

同 五 (昭二二)

始祖三紡績・堺紡績所と鹿島紡績所

同 六・八・九・一〇 (昭二二)

製糸業に於ける産業革命

史潮 六ノ二 (昭一一)

奈良朝に於ける手工業について 遠藤元男

歴史と生活 二ノ三・四 (昭一四)

本邦紡績業發達史の一編―日清戰爭前後

同 四ノ三 (昭一六)

遠州織物發達の階段

同 六ノ一 (昭一八)

大傳馬町組木綿店發生考―傳馬屋敷から木綿問屋へ―

社會經濟史學 三ノ三 (昭八)

鹿島紡績工場並に機械圖解

同 五ノ四・五・六 (昭一〇)

文久年間に於ける外國貿易の發展と幕府の抑壓政策―特に生糸貿易について

同 六ノ一〇 (昭二二)

明治初年に於ける蠶種輸出

同 六ノ一〇 (昭二二)

抑壓政策―特に生糸貿易について

同 六ノ一〇 (昭二二)

明治初年に於ける蠶種輸出

信夫清三郎

信夫清三郎

信夫清三郎

信夫清三郎

信夫清三郎

飯田忠夫

飯田忠夫

飯田忠夫

飯田忠夫

飯田忠夫

三邊清一郎

三邊清一郎

中村 精

中村 精

伊藤彌之助

伊藤彌之助

土屋 喬雄

土屋 喬雄

土屋 喬雄

土屋 喬雄

土屋 喬雄

石井 孝

石井 孝

猪谷 善一

同 一〇ノ六 (昭一五)

明治時代の養蠶―長野縣上伊那郡小野村

中村 寅一

同 一一ノ五 (昭一六)

日本製糸マニユファクチュヤールの先驅的萌芽

宮出 秀雄

同 一二ノ二 (昭一七)

生糸改會社

宮出 秀雄

同 一三ノ二 (昭一八)

福島生糸業に於ける經營形態の發達について―所謂問屋制家内工業の發達―

藤田 五郎

同 一三ノ一・一二 (昭一八)

松江府に於ける綿業形成の過程について

西島 定生

同 二ノ九 (昭七)

江戸時代に於ける特殊商業としての呉服屋と兩替屋

三井 高維

同 復刊一 一五ノ一 (昭二三)

西陣機業の源流

豊田 武

同 一三ノ一・一二 (昭一八)

中世に於ける大陸織物の傳來について

豊田 武

經濟史研究 二 (昭四)

長濱縮緬の賣出と其の障害 菅野和太郎

同 二〇 (昭六)

大阪の阿波藍問屋と藏屋敷の統制

松好 貞夫

同 二六・二九・三〇 (昭七)

明治六五年間の大阪の工業

堀江 保藏

同 三六 (昭七)

蘭船積載の織物「せいらす縮」考

渡邊 良吉

同 一三ノ四 (昭一〇)

維新當初の外人の我が製糸方法改良意見 大山敷太郎

同 一三ノ四 (昭一〇)

幕末に於ける佐賀藩の洋式工業 江頭 恒治

同 一四ノ二 (昭一〇)

近江麻布

同 一四ノ四 (昭一〇)

京都の呉服甘軒組の變遷

同 二四ノ六 (昭一五)

糸荷廻船考

同 二四ノ五 (昭一九)

丹後縮緬の發祥

同 二三ノ六 (昭一五)

京都府立製糸場考

同 一九ノ六 (昭一三)

固有綿業と洋式綿業の移植

同 一六ノ三 (昭一一)

高富布と彦根藩

同 一九ノ四 (昭一三)

廣島紡績所と廣島綿糸紡績會社 吉川 秀造

同 一九ノ五 (昭一三)

維新前後の羊毛業

同 二六ノ二 (昭一六)

小倉織の起源及發達

同 二六ノ四 (昭一六)

我が國に於ける織維工業の發達 堀江 保藏

同 三一ノ三 (昭一九)

李朝時代木綿輸出の終末 澤村、東平

經濟史學 第二輯 (昭一一)

日本マニユファクチュアに關する一考察 福田 義男

經濟史學 第五輯 (昭一四)

日本マニユファクチュア論の覺書として 成瀬 秀雄

日本經濟史研究所 幕末經濟史研究

佐賀藩に於ける洋式工業 江頭 恒治

日本經濟史研究所 幕末經濟史研究(昭一〇)

山口藩に於ける洋式工業 堀江 保藏

經濟論叢 一二ノ五・六 (六一〇)

舊岩國藩の製糸原料保護政策 吉川 元光

同 一九ノ五 (六一三)

江頭 恒治

天保時代の西陣 本庄榮治郎

同 三ノ五 (昭一一)

尾西毛織業の集積現象―その成立と發展

同 三一ノ五 (昭五)

明治十八年五品共進會に於ける染織産業の課題と成果―主として綿業について

同 四三五 (昭一四) 小田 保治

徳川時代の工業と商業資本 菅野和太郎

同 一九ノ五 (昭六)

同 四三五 (昭一四) 小田 保治

山口藩に於ける幕末の洋式工業 堀江 保藏

同 三ノ五 (昭一一)

同 四二〇 (昭一三) 三河地方のガラ紡工業の發展 小田 保治

同 三三ノ一 (昭七)

同 日本産業と紡績資本 (昭二一・一〇〇) 名和 統一

同 四二〇 (昭一三) 本邦毛織物工業の發展過程 小田 保治

徳川時代諸藩の國産會所について

同 西陣の機業形態 (昭二二・三) 堀江 英一

同 政經論叢 九ノ二 (昭九) 明治初年における我國の綿糸紡績業 土屋 喬雄

同 五七ノ五 (昭一八)

同 再編過程における中小工業―メリヤス工業の實態― (昭廿三・四・六) 大阪商大經濟研究所

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 四〇ノ五 (昭一〇)

同 我國古代の生産技術に關する一考察 倉持 徳久

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五一ノ五 (昭一五)

同 幕末の蠶種貿易 本庄榮治郎

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 徳川時代に於ける丹後縮緬機業の發展過程 堀江 英一

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 國民經濟雜誌 一三ノ四・六 (六一)

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 加賀藩々政時代に於ける高岡綿場及び金澤米場に關する調査 佐野 善作

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 紀州ネル業の研究 北村榮二郎

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 徳川時代桐生織物業の史的研究 大島 五郎

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 徳川時代の織物業に於ける問屋制家内工業 土屋 喬雄

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 企業と社會 一〇 紀州綿ネル業に於ける産業革命 太田 保夫

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

同 五〇ノ六 (昭一五)

同 調査時報 一ノ二

同 一八〇、一八一、一八二 (昭一〇) 日本綿布進出の經濟的及び社會的背景 山上 辨藏

織維業の動向

日本共産黨出版部

開港當時の生糸貿易史雜考

正木 章三

古代蠶業の覺書

石川 愼策

慶應義塾經濟史學會紀要 一 (昭一二)

同 五三九 (昭一二)

同 三五九 (昭一〇)

産業組合 三五九 (昭一〇)

明治初期に於ける我國棉花生産の凋落

同 五四二・五四三 (昭一二)

同 三五九 (昭一〇)

組合製糸認識に於ける史的推移貫井清次郎

三田學會雜誌 四ノ六

三邊清一郎

同 五四二・五四三 (昭一二)

大日本紡績聯合會月報 五三七 (昭一二)

マニユファクチュア論争について

同 一六二・一六八 (昭二)

紡績事業の發達と企業の集中及結合

伊東 偕吉

同 一八七 (昭七)

小島昌太郎

彦根高商論叢 一一・一二 (昭七)

同 一八七 (昭七)

綿工聯 二〇一四一 (昭二一・四)

長濱縮緬機業の發達に就いて

同 一八七 (昭七)

高橋 龜吉

同 一一・一二 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

長濱天鷲絨機業の研究

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

同 一五 (昭九)

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

近江蚊帳機業の發達に就いて

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

明治學院高商論叢 五 (昭九)

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

博多織の研究

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

松山高商論叢 (昭一三)

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

今治の綿業

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

蠶絲界報 四八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

支那蠶種最初の舶載

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

同 四九二・四九三 (昭八)

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

製糸經營の經濟史的意義

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

同 五〇二 (昭八)

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

官立富岡製糸場創業秘史

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

同 五二八 (昭一一)

同 一八七 (昭七)

同 一八七 (昭七)

同 三三・二三 (昭一二)

著書論文目錄

同 四九 (昭一四)

同 三〇七 (同)

下村紡績所

同

第一次歐洲大戰當時に於ける我國綿糸紡績業

桑島紡績所

同

島田紡績所

同

三瓶 孝子

同 三〇八 (同)

同 四〇九・一〇 (昭一一)

同

經濟學論集 八〇四 (昭五)

下野紡績所

同

原棉と工費

同

日本資本主義發達に於ける製糸業の地位

同 三〇九・一〇 (同)

同 四〇一・二 (同)

同

柳川 昇

岡山紡績所

同

堺紡績所

同

同 二〇二 (昭七)

同 二〇一・二 三〇一 (昭九一〇)

同 五〇二 (昭二二)

同

二本松製糸工場の設立及び創立事情―本邦最初の株式組織製糸會社―

政府の獎勵時代 (紡績業)

同 三〇二 (昭一〇)

同 五〇三 (同)

同

同 三〇一〇 (昭八)

官立愛知紡績所

同

名古屋紡績會社

同

瀧野川鹿島紡績所の創立經營事情―本邦初の民設紡績工場―

同 三〇七 (昭一〇)

同 五〇四・五 (同)

同

同 五〇一 (昭一〇)

紡績に於ける動力の變遷

同

同 五〇九 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇八 (昭一〇)

同 五〇六・七 (昭二二)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇一 (昭一〇)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同

同 五〇七 (昭一〇)

同 三〇一 (昭一五)

同 五〇六・七 (昭二二)

同 五〇一〇・一一 (同)

同



- 那山紡績株式会社 同
- 同 三ノ三 (昭一〇) 倉敷紡績所
- 同 六ノ五 (昭一三) 同 七ノ一二 (昭一四)
- 戦争と本邦綿糸紡績業 同 七ノ八 (昭一四)
- 同 六ノ一二 (昭一三) 三瓶 孝子 初期の綿糸輸出状態
- 印棉の發見と積取 同 七ノ一〇 (同) 同 七ノ八 (昭一四)
- 同 六ノ一一 (昭一三) 同 七ノ一〇 (同) 歐洲大戦を契機とする我國綿紡業の發展
- 紡聯の改組と活動 同 七ノ一一 (同) 三瓶 孝子
- 同 六ノ二・三 (昭一三) 高岡紡績會社 同 七ノ一〇 (同) 同 八ノ八 (同)
- 本邦に於ける人絹産業發達に關する一考察 同 七ノ六・八 八ノ一 (昭一四―一五) 同 八ノ五 (同)
- 同 六ノ四 (昭一三) 同 七ノ六・八 八ノ一 (昭一四―一五) 同 八ノ四 (同)
- 金布製織會社 同 八ノ二 (昭一五) 同 八ノ四 (昭一五) 伊勢中央紡績會社 (紡績合併の嚆矢)
- 同 七ノ七 (昭一四) 同 八ノ三 (昭一五) 同 八ノ五 (同) 同 八ノ四 (同)
- 小名木川綿布會社 同 八ノ三 (昭一五) 同 八ノ四 (昭一五) 同 八ノ五 (同)
- 同 六ノ八 (同) 大和紡績會社、附薩摩の紡績札と會所札 同 八ノ五 (同) 同 八ノ四 (同)
- 尾張紡績會社 同 八ノ四 (昭一五) 同 八ノ五 (昭一五) 同 八ノ五 (同)
- 同 六ノ九 (同) 同 八ノ四 (昭一五) 同 八ノ五 (昭一五) 同 八ノ五 (同)
- 三池紡績會社 同 八ノ四 (昭一五) 同 八ノ五 (昭一五) 同 八ノ五 (同)
- 久留米紡績會社 同 八ノ九 (昭一五) 同 八ノ五 (昭一五) 同 八ノ五 (同)
- 同 七ノ一・二 (昭一四) 同 八ノ九 (昭一五) 同 八ノ五 (昭一五) 同 八ノ五 (同)
- 鐘紡 (東京本店の卷) 悠々齊雲亭 同 八ノ九 (昭一五) 同 八ノ五 (昭一五) 同 八ノ五 (同)
- 同 七ノ五 (同) 同 同 同 同 同 同

著書論文目錄

吳服所付に就いて 佐古 慶三 岩磐史談 三ノ一 (昭一二) 北村壽四郎

同 七〇 (昭九) 福島縣木綿織物業史 庄司吉之助 同 一一二—一五三 (昭一〇—一三) 近松文三郎

絹糸紡績の發達と最近の動靜 附本邦絹紡 上毛及上毛人 二一二 (昭九) 松田 鑽 同 一五四—一六二 (昭一三—一四) 近松文三郎

工場の沿革年表 小岩 隆道 歴史ある上野絹 上毛及上毛人 二二七 (昭一一) 麻布に關し近江と能登 同 上方 八六 (昭一三) 近松文三郎

同 一〇一 (昭一一) 秋父織物關係文書 君が代歌を載せたる徳川中期の村落農民決 議連列狀(元文五年)―養蠶制度史の一史 上方 八六 (昭一三) 丸龜藩に於ける總糸業 若菜 省吾

染織美術 二 (昭廿五) 近世染織美術 料 千々和 實 讚岐史談 二ノ一 (昭一二) 日向 一五 (昭一〇) 中島 茂

同 同(同) 明石 染入 埼玉史談 七ノ五 (昭一一) 江戶に於ける秋父絹 九ノ五 (昭一三) 柿原 謙一 朝鮮農會報 一四ノ八 (昭一五) 併合前後に於ける棉作獎勵施設一般 繁野 秀介

京都の染織を語る座談會 廣澤 吉平 信濃 一ノ八 (昭七) 大西 芳雄 朝鮮 二四四 (昭一〇) 棉の恩人文益漸先生 同 二七一 (昭一一) 朝鮮の負・楸商と其の變遷 李 能和

農業經濟學論集 (佐藤寛次博士還曆記念) (昭一五) 富岡製糸場設立當時の秩父 柿原 謙一 併合前後に於ける棉作獎勵施設一般 繁野 秀介

徳川初期蠶糸業の展開 廣澤 吉平 信濃 一ノ八 (昭七) 大西 芳雄 朝鮮 二四四 (昭一〇) 棉の恩人文益漸先生 同 二七一 (昭一一) 朝鮮の負・楸商と其の變遷 李 能和

帝國農會報 二二ノ七—一〇 (昭七) 松本平の天祥蠶糸業 同 五ノ四 (昭一一) 憶ひ出の日乃出松製糸場 同 静岡縣郷土研究 一三 (昭一四) 旭 同 二九九 (昭一五) 朝鮮の負・楸商と其の變遷 李 能和

世界蠶糸業の變遷及其の國際戰中深辨次郎 同 五ノ四 (昭一一) 憶ひ出の日乃出松製糸場 同 静岡縣郷土研究 一三 (昭一四) 旭 同 二九九 (昭一五) 朝鮮の負・楸商と其の變遷 李 能和

朝鮮に於ける苧麻栽培の過去及現在 和田 滋穂 掛川名産葛布の由來 土のいろ 一五ノ五 (昭一三) 中村 精 改造 一五ノ九 (昭八) 徳川時代のマニユファクチュア 土屋 喬雄

家畜 一九ノ一 (昭一〇) 根村 正位 我が國紡績史に見えた遠江 郷土史壇 四ノ六 (昭一三) 森 義一 徳川時代のマニユファクチュア 土屋 喬雄

本邦兎毛紡織史 根村 正位 我が國紡績史に見えた遠江 郷土史壇 四ノ六 (昭一三) 森 義一 徳川時代のマニユファクチュア 土屋 喬雄

郷土科學 一七 (昭七) 松井 恒吉 ひだびと 七ノ六 (昭一四) 森 義一 徳川時代のマニユファクチュア 土屋 喬雄

日本に於ける器械製糸事業の創始 松井 恒吉 ひだびと 七ノ六 (昭一四) 森 義一 徳川時代のマニユファクチュア 土屋 喬雄

仙臺郷土研究 三ノ七 (昭八) 只野 淳 太湖 一三三・一三三 (昭一二) 森 義一 日本に於ける紡織技術の起源 八幡 一郎

伊達藩と仙臺平 只野 淳 太湖 一三三・一三三 (昭一二) 森 義一 改造 一六ノ一 (昭九)

維新史研究の中心論—幕末マニユファクチュ  
ユアの諸問題— 土屋 喬雄

中央公論 五〇ノ一一 (昭九)

資本主義の成立と農村分解の過程

宇野 弘藏

新日本 二ノ九 (大一)

明治の工業

岡 實

國華 一五四 (明三六)

織工史料總説

村山峰次郎

## 東洋史關係

一、綹關係 雜誌論文

支那における繭の流通費用 堀江英一 (經濟

論叢五六ノ二)

支那製絲業に關する一資料 東亞研究所編

(B5判八九頁 昭和一七年九月)

支那蠶絲業研究 東亞研究所編 (A5判六三

〇頁 大阪屋號書店 昭和一八年六月)

製絲工業報告書 中文建設資料整備委員會編

譯部 (編譯叢報二三、昭和一五年七月)

廣東蠶絲業調査報告 林汝珩著紺野敏治譯

(編譯簡報一ノ一)

無錫の製絲業 小野忍 (滿鐵調査月報二ノ

一〇)

支中に於ける蠶絲業 劉大鈞著室賀定信譯

(同二ノ六、七)

硤石の土絲取引 小野忍 (同二三ノ三)

支那製絲業の生産形態 堀江英一 (東亞經濟

論叢二ノ四、三ノ一)

支那蠶絲業の調整政策 堀江邑一 (同三ノ二)

支那蠶絲業に就ての覺書 天野元之助 (東亞

問題二ノ一〇)

漢代の給絹 原田淑人 (考古學論叢一)

漢代絹の一名「鮮支」に就いて 原田淑人

(史苑一一ノ三、四)

吳織漢織 松岡靜雄 (中央史壇一一ノ一)

東洋の古代織物に於ける波斯模様 に就て 真

田誠一 (國華二六ノ三〇七)

唐代織物工業雜考 高橋泰郎 (東亞論叢五)

瑞錦と我が上代錦 太田英藏 (學藝三三)

近代の絹織物業 島田正郎 (史學雜誌五八ノ

五)

耕織圖の研究 大谷健夫 (松崎先生還曆記念

論文集所收)

南京の緞錦業 國民經濟建設委員會著周自在

譯 (編譯簡報一ノ五)

浙江省紹興の絹綢業 王廷風著周自在譯 (同

一ノ五)

蘇州の紗緞業 小野忍 (滿鐵調査月報二ノ

六)

杭州の絹織物 小野忍 (同二三ノ二、四)

二、綹關係 著書

棉花圖 榎木中衛・吉川幸次郎共譯 (B5判

筑摩書房 昭和一七年一〇月)

北支農業經濟論—特に棉花生産合作の問題を

中心として— 村上捨巳 (A5判三六六頁

日光書院 昭和一七年)

佛印の棉花資源— フランス研究資料より

西澤基一・中込武雄共譯 (B6判二五七頁

中川書房 昭和一七年五月)

南方圖の棉花資源 松丸志摩三 (A5判二四

八頁 國際日本協會 昭和一七年七月)

三、綹關係 雜誌論文

北支那棉花生産問題 村上捨巳 (東亞問題二

ノ一一)

山西の棉花 平野三郎 (地理學一〇ノ一〇)

山東省臨清縣農業實態調査報告—同縣第二區

大三里莊に於ける棉作事情調査を中心とし

て— 岸本光男 (滿鐵調査月報二三ノ六一

八)

河南湖北安徽江西四省棉産運銷 (支那經濟資

料一六 生活社)

棉産改進事業工作報告 中支建設資料整備委員

員會編譯部(編譯彙報四九)

棉花棉布に關する古代支那人の知識 藤田豊

八(東洋學報一五ノ二)

明代に於ける木綿の普及について 西嶋定生

(史學雜誌五七ノ四、五、六)

松江府に於ける棉業形成過程について 西嶋

定生(社會經濟史學一三ノ一一、一二)

支那初期綿業の成立とその構造 西嶋定生

(オリエンタリカ二)

支那初期綿業市場の考察 西嶋定生(東洋學

報三一ノ二)

十六・十七世紀を中心とする中國農村工業の

考察 西嶋定生(歴史學研究一三七)

近代化以前に於ける中國綿業の成立に就いて

渡部富義(史學研究二)

南京木綿興亡史 幼方直吉(東亞論叢一)

支那における紡績業と棉花 名利統一(東亞

經濟研究一—B6判五九九頁有斐閣 昭和

一六年三月)所収

支那に於ける手紡絲と手織 小倉隆(滿家二

〇ノ一)

河南省の綿業 胡克良著大角發郎譯編(滿鐵

調査月報二〇ノ九)

山西に於ける織布業に於て 平野虎雄・山本

達弘(同二ノ一〇)

山東省濰縣に於ける織布業の變遷 堀内清雄

富永一雄(同二ノ一)

常州(武進)に於ける織布工業 上海事務所

調査室譯(同二ノ一〇)

平遙土布の生産形態 山本達弘(同三ノ一、

二)

山東省臨清縣布業概況 樺山幸雄(同二ノ

七)

雲南省棉業調査報告 綿業統制委員會著周自

在譯(編譯簡報一〇四)

武漢の紡績業 李建昌著長野正夫譯(同二ノ

四)

河南省の棉業 中支建設資料整備委員會編譯

部(編譯彙報一五)

全國經濟委員會棉業統制委員會三年來工作報

告(同六)

中國紡績事業の性格と日華經營の對立 西藤

雅雄(東亞經濟研究三ノ一)

支那紡績業に於ける勞働請負制度 岡部利良

(東亞經濟論叢一ノ一)

支那紡績勞働請負制度の様式 岡部利良(同

一ノ二)

支那紡績勞働請負制度の發達 岡部利良(同

一ノ三、四)

支那紡績勞働の吟味 戸田義郎(支那研究四

六)

四、其の他

絹及び崑崙氈について 藤田豊八(支那一

七ノ一)

トルコ絨氈考 内藤智秀(史學一ノ三)

棉布考 那波利貞(史林八ノ四)

人造絹絲工業報告書 中支建設資料整備委員

會編譯部(編譯彙報一九)

支那の毛織工業 中支建設資料整備委員會編

譯部(同五二)

南方纖維原料の生産について 岡部利良(東

亞經濟論叢二ノ一)

口繪解説 圖版四

綿くり

秋のどかな田舎家に、赤い前垂に濃い鼠色の綿物を着た娘と、質素な綿の着物の母親とが、綿くりにいそむ。横に二本わたしたくり棒の廻轉を利用して綿をくるのであるが、本岡では上のかくり棒を桿材の遠心力を利用して足で動かしている。重ねられた二本のかくり棒の間に實綿をはきむと、廻轉に従つて種子が分離され、綿のみが前進して籠の中に落ちるのである。筆者は綿繪の開祖として名高い鈴木春信である。(高尾一彦)

## 西洋史關係

— 田村滿穂 —

— イギリスを中心としたヨーロッパ毛織物工業に關する史料 —

ヨーロッパの毛織物工業が近代資本主義生成期に果たした役割について、既に、大塚久雄教授の古典的名著が心にくいまでに描き出したことは周知のことに屬するが、毛織物工業の近代的資本主義的産業としての生成過程の中にこそ、ヨーロッパ近代資本主義成立過程の最も核心的な縮圖を見ることが出来ること云つてよい。イギリスにおいて近代資本主義が最も典型的に育成されたと云われることの意味も、イギリス毛織物生産の生成發展の中に近代的資本主義的生産様式の典型的な形成が見られ、而も、それがイギリス産業の基軸となつたと云うことであらう。云うまでもなく、それは、ヨーロッパ内の或特定の一國のみに屬する問題に止らず、廣くヨーロッパ全體、ヨーロッパそのものの問題に連なるものであつた。初期資本主義の經濟は、その構造から見るならば國民經濟の段階にあるが、流通面からすれば既に世界商業の様相を呈し、而も、その世界商業體系の中にはめ込まれたものとしての一國の經濟的繁榮と衰退が、一

國における近代的産業としての毛織物業の發展如何に没すべからざる關聯を有したことを理解するとき、毛織物工業こそ、ヨーロッパ初期資本主義時代の起伏を形作るものであつたと云わねばならない。勿論、これが究明のために各國に就いての綿密な研究を必要とするが、未だそれが充分明らかになされてゐるとは言い難い。そこでこゝでは、その研究の最も多く見出される——それは決して理由なきことではないが——イギリスを中心に挙げてみたいと思ふ。その場合、二つことが留意されねばならないであらう。一つは、イギリスが近代的産業としての毛織物工業とそれを中軸とする世界商業に最後の勝利を獲得するに至る過程、換言すれば、ヨーロッパ初期資本主義時代における經濟的繁榮中心の、イタリア、スペイン、オランダ、フランス、イギリスへの交替移動——所謂北漸と毛織工業との有機的な關聯の問題であり、二つには、イギリスの毛織物工業自體の生成過程である。第一の點からは、イギリス以外のヨーロッパ諸國の毛織物工業に觸れなければならず、第二の點では、マナーの崩壊やギルドの展開、解體など、封建制生産様式の解體過程が注目されねばならぬ。従つて、以下に掲げられる

ものの中には直接的には毛織物工業に無關係と思われるものも少くないであらうが、史的發展の縦と横との交叉點に立つたイギリス毛織物工業を、以上の二點を考慮しつゝより廣範な面から理解するに努め、それを通じて、不充分年らもヨーロッパ全體（と云つても限界はあるが）のそれにも觸れて行きたいと思ふ。

「一、先ずイギリス以外のヨーロッパ諸國に關するものを擧げよう。

(1)、近世初頭レバント貿易を通じて眞先に經濟的繁榮を示したイタリアに就いて見るにイタリアにおける資本主義の勃興に關するものとしては

Sieveling, H., Die kapitalistische Entwicklung in den italienischen Städten, U.S.W.G., Wl.

Doren, A., Studien aus der florentiner Wirtschaftsgeschichte, 1901-1908.

Jahresentwicklung und Organisation der florentiner Zünfte im 13. und 14. Jahrhundert, 1897.

Pohlmann, R., Die Wirtschaftspolitik der florentinischen Renaissance.

Schneider, G., Die finanziellen Bezi-

ellungen der florentinischen Bankiers zur Kirche von 1285 bis 1304, 1890.

Dairdsch, K., Geschichte von Florenz, 1896.

Friedmann, F., Der mittelalterliche Welthandel von Florenz in seiner geographischen Ansehung, 1912.

Melzing, O., Das Bankhaus der Medici und seine Vorläufer, 1906.

Nerimout, A., Lorenzo de' Medici, 1887.

Heynen, R., Zur Entstehung des Kapitalismus in Venedig, 1905.

Kreuschmayer, G. A., Geschichte von Venedig, 1905-20.

Simonstfeld, H., Der Fondaco dei Tedeschi in Venedig und die deutsch-venetianischen Handelsbeziehungen, 2 Bde., 1887.

Schulze, A., Geschichte des mittelalterlichen Handels und Verkehrs zwischen Westdeutschland und Italien, mit Anschluss von Venedig, 2 Bde., 1900.

Caro, G., Genua und die Mächte am Mittelmeer, 1257-1311, 2 Bde. 1895-1899.

Heyck, F., Genua und seine Marine in Zeitalter der Kreuzzüge, 1886.

Prutz, H., Kulturgeschichte der Kreuzzüge, 1883.

Schanbe, A., Handelsgeschichte der römischen Völker des Mittelmeergebietes bis zum Ende der Kreuzzüge, 1903.

Yver, G., Le commerce et les marchands dans l'Italie meridionale an 13<sup>e</sup> et an 14<sup>e</sup> siècle, 1903.

特ニ見録物之關ニ付  
Doren, A., Die florentiner Wollent-  
chindustrie von 14. bis zum 16.  
Jahrhundert, 1908.

② 新大陸發見と其のメキシコの低廉な貴金屬を獲得するに由りて 新大陸(西歐)東洋の仲立貿易に巨額を現わしたメキシコニ關シテ  
一般的なるもの

Anstaux, Histoire économique de l'Espagne aux XVI<sup>e</sup> et XVII<sup>e</sup> siècles.

1893.  
Klein, J., The Mesta. A Study in Spanish Economic History, 1273-1886, 1920.

特ニメキシコ貴金屬の輸入及び價格革命の  
ふるに  
Hamilton, E. J., American Treasure and the Price Revolution in Spain. Imports of American Gold and Silver into Spain, 1503-1660; Quarterly journals of Economics XLIII (1928).

Harriss, C. H., American Gold and Silver Production in the Half of the 16<sup>th</sup> Century; Q. J. E. XXIX (1915).

Bonn, M. J., Spaniens Niedergang während der Preisrevolution des 16. Jahrhunderts.

その他參照すべきものとして  
Kantke, L. v., Die Osmanen und die Spanische Monarchie im 16. und 17. Jahrhundert, 1827.

Hübner, K., Die Geschichte der Purgischen Handlung in Spanien,

1897.

Die wirtschaftliche Blüthe Spaniens im 16. Jahrhundert und ihr Verfall, 1888.

Leonhardy, Über Handwerkerzilden und Verbrüderungen in Spanien; Jahrbuch für Nationalökonomie und Statistik, 1909.

Benners, Zur inneren Entwicklung Castiliens unter Karl V.; Deutsche Zeitschrift für Geschichtswissenschaft I (1889).

Haring, E. G., Trade and Navigation between Spain and the Indies.

Hanilton, J., The Decline of Spain; Economic History Review III/2.

Moses, Economic Condition of Spain 1500-1600; Journal of Political Economy (1893).

6) 毛織物業と伸縮貿易のイギリスと湖權を爭つた低地方に關するものには  
一般的なものとして  
Prenne, H., Geschichte Belgiens, 1809  
-1907.

tory of Medieval Europe, 1936.

The Place of the Netherlands in Economic History of Medieval Europe; Ec. H.R. II/1 (1929).

Moley, T. L., Rise of the Dutch Republic, 5 vols., 1900.

Blök, P. A., History of the people of the Netherlands, 5 vols.

Basel, Z. B. J., Holländische Wirtschaftsgeschichte, 1927.

Fähnberg, R., Hamburg und England im Zeitalter der Königin Elizabeth. 1896.

Wilson, G. H., The Economic Decline of the Netherland; Jc. H. R. IX/2 (1939).

Pringsheim, O., Beiträge zur wirtschaftlichen Entwicklungsgeschichte der Vereinigten Niederlande im 17. und 18. Jahrhundert, 1890.

Laspeyres, E., Geschichte der volkswirtschaftlichen Anschauungen der Niederländer und ihrer Urtenture zu Zeit der Republik, 1863.

Posthumus, N. W., Bronnen tot de geschiedenis van de Leidseche Textiel-ijverheid.

De geschiedenis van de Leidseche Lakenindustrie, 1908.

Pieter de la Court, Het welvaeren van Leiden, 1659 (mitgegeven van F. Driessen, 1911).

Riehard, S., Traité générale dei commerce, contenant les réductions des mesures poids et monnaies de la Hollande and, 1732.

Prenne, H., Une crise industrielle au XV<sup>e</sup> siècle. La draperie urbaine et la nouvelle draperie en Flandre, 1905.

Rees, O. V., Geschiedenis der staatshuishoudkunde in Nederland tot het einde der achttiende eeuw, I.

Mavez, D., L'organisation du travail à Bruxelles au XV<sup>e</sup> siècle, 1904.

Espinas, G., Jehan Boine Broke, bourgeois-et drapier dou aisien; V. f. Soz. n. Wtg., II. (1904).

Social and Economic His-

織物業に關する此の他は

貿易の發展等に關するものには

- Smith, H. J., *Bronnen tot de geschiedenis van den handel met Engeland, Schotland en Ierland*, 1928.  
 Deel I in 2 stukken, (1150-1487).
- Poehmann, H. A., *Bronnen tot de geschiedenis van den Oostzeehandel*, Deel I in 2 stukken, (1122-1499), 1928.
- Macpherson, *Annals of Commerce*, 1806.
- Rens, K. d., (tesschielichen Überblick der Administ rativen, rechtlichen und finanziellen Entwicklung der niederländisch ostindischen Compagnie.
- Ligtenberg, C., *Willelm Usselinx*.
- Goris, J. A., *Études sur les colonies marchandes méridionales à Amnens de 1488 à 1567*.
- Brakel, V., *De Hollandische handelscompagnieën der zeventiende eeuw*.
- Dillen, J. G. v., *The Bank of Amsterdam; (in) History of the Principal Public Banks*, ed. by van Dillen (1934).
- Amsterdam, *maître mondial des métaux précieux au XVIII<sup>e</sup> et au XVIII<sup>e</sup> siècle*; *Revue historique*, (1929).
- Raystern, W. v., *Onderzoekingen over de economische en sociale ontwikkeling van Amsterdam gedurende de 16<sup>e</sup> en het eerst kwartant der 17<sup>e</sup> eeuw*, Bijlage VI.
- Bloom, H. J., *The Economic Activities of the Jews of Amsterdam in 17<sup>th</sup> and 18<sup>th</sup> Century*, 1937.
- (4) エンペリニシテ、中世末期世界商業の二大支柱の1つをなしたエンペリ近代の企業形態の勃興を以てしてのエンペリ時代の商獨逸に就ての文献を擧げし置かば、  
 (3) エンペリに關する研究は極めて多かり、その中に重要な點を擧げれば、その及ぶエンペリニ關する諸國との關係を明らかにせしむるに在り。
- Schöler, R., *Die Hanse und ihre Handelspolitik*, 1885.
- Kisselbach, G. A., *Die wirtschaftliche Entwicklung der deutschen Hanse und die Handelsstellung* Hamburgs, 1907.
- Daempel, R. K., *Geschichte der deutschen Hanse*, 2 Bde., 1897.
- Stein, W., *Beiträge zur Geschichte der deutschen Hanse bis um die Mittel des 15. Jahrhunderts*, 1900.
- Lindner, T., *Die deutsche Hanse*, 1911.
- Daenell, J., *Die Blütezeit der deutschen Hanse*, 2 Bde., 1905-6.
- Prinkmann, C., *The Hanseatic League*, 1930.
- Rörig, F., *Les raisons intellectuelles d'une suprématie commerciale*, in *Hanse*, 1930.
- Mielkowitz, G., *Aus Revolver Handbüchern*, 1938.
- Vogel, W., *La Hanse, d'après des publications récentes*; *Rev. Hist.*, 179, (1927).
- Zur Grösse der europäischen Handelsflotten im 15., 16. und 17. Jahrhundert, 1915.
- Stieda, W., *Hansische-Venezianische Handelsbeziehungen im 15. Jahrhundert*, 1894.



Siederer, J., Levantische Handels-  
 fahrten deutscher Kaufleute des 16.  
 Jahrhunderts, 1919.

Rehken, F., Der Handel der königs-  
 berger Grossschäfferei des deu-  
 tschen Ordens mit Flandern um  
 1400, 1937.

Vollbeh, F., Die Holländer und die  
 deutsche Hanse, 1932.

Demné, J., Die Hanse und die Ant-  
 werper Handelskompanien den  
 Ostseeländern, 1938.

Lappenberg, J. M., Urkundliche Ges-  
 chichte des hannischen Stahlhofes  
 in London, 1871.

Berth, L., Hanse und Reich im han-  
 deipolitischen Landkampf gegen  
 England, 1929.

Schulz, F., Die Hanse und England  
 von Edwards III. bis auf Heinri-  
 chs VIII. Zeit, 1911.

Postan, M. M., The Economic and  
 Political Relations of England and  
 the Hanse from 1400 to 1475; in  
 Studies in English Trade in the  
 15th Century, ed. by Power, E. &  
 Postan, M. M. (1933).

Marcus, J. R., Die Handelspolitischen  
 Beziehungen zwischen England  
 und Deutschland in den Jahren  
 1376-1555, 1925.

Steveking, H., Die Handelsstellung  
 des Süddeutschlandes im Mittel-  
 alter und der Neuzeit.  
 ② 中世と近世の南ドイツの貿易

Ammann, H., Wirtschaftsstellung St.  
 Gallens im Mittelalter, 1928.

Stieda, W., Literatur, heutige Zus-  
 tände und Entwicklung der deu-  
 tscher Hansindustrie.

Thum, A., Die Industrie am Nieder-  
 rhein, I-II (Schmolters Forschun-  
 gen II/2-3), 1880.

Schnoller, G., Zur Geschichte der deu-  
 tschen Kleingewerbe im 19. Jahr-  
 hundert, 1870.

Nabbling, F., Ulms Baumwollweberei  
 im Mittelalter, (Schmolters For-  
 schungen, X/15), 1890.

Brenham, L., Die feudale Grundlage  
 der schlesischen Leidenindustrie;  
 Alte und Neue Fendalität.

Plahn, H., Zur Geschichte der Agrar-  
 verfassung von Ost und Westpreu-  
 sen; Hintzes Forschungen zur  
 Brandenburgischen und Preussis-  
 chen Geschichte, VII/2).

Troetsch, W., Die Calwer Zeughand-  
 lungskompanie und ihre Arbeiter;  
 in Studien zur Geberbe- und So-  
 zialgeschichte Altvaterberg, 1897.

Tunger, F., Zum Verlagsystem als  
 Organisationsformen des Erthkapit-  
 talismus in Textilgewerbe, 1927.

Below, G. v., Die Frage des Rückgan-  
 ges der wirtschaftlichen Verhält-  
 nisse Deutschlands von dem 30  
 jährigen Krieg, V. f. Zoll- u. Wtg.  
 VII.

Steinbeck, A., Geschichte des schlesi-  
 schen Bergbaus, 1857.

③ 普魯士の羊毛工業の歴史

Ehrenberg, R., Das Zeitraffer der Fug-  
 ger. 2 Bde., 1887.

" Grosse Vermögens. Ihre

- Entstehung und Bedeutung, 1902.
- Stieder, J., Jakob Fugger der Reiche, 1926.
- „ Studien zur Geschichte der kapitalistischen Organisationsformen, 1925.
- „ Das Reich Augsburg, 1938.
- „ Levantische Handelsfahrten deutscher Kaufleute des 16. Jahrhunderts, 1920.
- „ Zur Genesis des modernen Kapitalismus, 1935.
- Schulte, A., Die Fugger in Rom, 1495-1523, 2 Bde., 1904.
- „ Geschichte der grossen Ravensburger Handelsgesellschaft, 1380-1530, 3 Bde., 1923.
- Häbler, K., Die Geschichte der Fuggerischen Handlung in Spanien, 1887.
- „ Die überseeischen Unternehmungen der Welser und ihrer Gesellschaft, 1903.
- Bauer, C., Unternehmung und Unternehmungsgestaltung in Spätmittelalter und in der beginnenden Neuzeit, 1936.
- Jansen, M., Die Anfänge der Fugger (bis 1494), 1907.
- „ Jakob Fugger der Reiche, 1910.
- Scheuermann, Die Fugger als Monarchien in Tirol und Kärnten, 1929.
- Dittel, T., Die Ritterwerbung Jakob Fuggers des Reichen (1494-1526), 1924.
- Müller, T., Der Umfang und die Hauptrollen des Nürnberger Handelsgebietes im Mittelalters, V. f. Soz. u. W.G. VI, 1908.
- „ Die Handelspolitik Nürnbergs, im Spätmittelalter, 1909.
- Sander, P., Die Reichstädtische Haushaltung Nürnbergs, 1902.
- Scheibe, J., Studien zur Nürnberger Waffenindustrie von 1450-1550, 1908.
- Weber, M., Zur Geschichte der Handelsgesellschaften im Mittelalter, 1899.
- Apelbaum, J., Basler Handelsgesellschaften im 15. Jahrhundert, 1915.
- Möllenberg, W., Probierung des Weltmarktes durch das Mannsfeldische Künper, 1911.
- Mück, W., Mannsfelder Kupferschieberbau in seiner rechtsgeschichtlichen Entwicklung, 2 Bde. 1910.
- Kunze, A., Die nordböhmischesische Leinwand und der Nürnberger Grosshandel, 1926.
- Below, G. v., Probleme der Wirtschaftsgeschichte. 1920.
- ⑤ ノットニシテ  
 ⑥ 1 卷 4 号 2 卷 5 号 3 卷 6 号 4 卷 7 号 5 卷 8 号  
 Ste, H., Les origines du capitalisme moderne, 1926.
- „ Französische Wirtschaftsgeschichte, 1930.
- „ Esquisse d'une histoire économique et sociale de la France, 1929.
- „ La France économique et sociale au XIII<sup>e</sup> siècle, 1933.
- „ Quelques aperçus sur le capi-

talisme commercial en France au XVII<sup>e</sup> siècle, *Revue d'histoire économique et sociale*, XII, 1924.

” Révolution commerciale et industrielle de la France sous l'ancien régime, 1925.

Hansen, H., Les débuts du capitalisme, 1927.

” The Characteristic Features of French Economic History from the Middle of the 16th to the middle of the 18th Century, *Ec. H. R. IV*⁄<sub>3</sub>, (1933).

Leyasseur, E., Histoire du Commerce de la France, 1911.

Marin, G., Histoire économique et financière de la France, 1917.

Baillet, G., L'introduction du machinisme dans l'industrie française, (1923).

Espinas, G., Les origines du capitalisme, 2 vol. 1933-1936.

Marion, M., Dictionnaire des institutions de la France au X<sup>VI</sup><sup>e</sup> et X<sup>VII</sup><sup>e</sup> siècles, 1923.

② 社会主義の発展と資本主義の発展  
 上ノ社会主義の発展と資本主義の発展

Bloch, M., Mes caractères originaux de l'histoire rurale française, 1931.

” La société rurale féodale, La formation des liens de dépendance. Arutprobos de Henri Beurr, 1930.

Kovalovsky, M., La France économique et sociale à la veille de la Révolution, 2 vols, 1909.

Loutchisky, G., La propriété paysanne en France à la veille de la Révolution particulièrement en Limousin, 1912.

” L'état des classes agricoles en France à la veille de la Révolution, 1911.

Sion, J., Les paysannes de la Normandie orientale, 1909.

Lefèvre, G., Les paysans de Nord pendant la Révolution française, 1924.

Febvre, L., Philippe II et la France Comté, 1911.

Ség, H., Les classes rural en Bretagne

du XVI<sup>e</sup> siècle à la Révolution, 1906.

” La vie économique et les classes sociales en France au X<sup>VII</sup><sup>e</sup> siècle, 1924.

Cabnetet, J., La société féodale, 1932.

” Le monde féodale, 1934.

Itaveau, M. P., L'agriculture et les classes paysannes dans le Haut poitou au XVI<sup>e</sup> siècle, 1926.

Soulgé, Le régime féodale et la propriété paysanne, 1923.

Marion, l'état des classes rurales dans le généralité de Bordeaux, 1902.

Verriest, L., Le régime seigneurial dans le comté de Hainaut du XVI<sup>e</sup> siècle à la Révolution, 1916-17.

Babeau, A., La vie rurale sous l'ancien régime, 1885.

Andrews, R. H., Les paysans des Mandes au X<sup>VII</sup><sup>e</sup> siècle, Etude sur la vie rurale dans une région de l'Anjou, 1935.

Justin, E., Les sociétés royales d'agriculture au X<sup>VIII</sup><sup>e</sup> siècle, 1923.

Calonne, A. d., La vie agricole dans

- le Nord de la France sous l'ancien régime, 1927.
- ③ 隆興紀略 0574  
Lévesseur, J., Histoire du Commerce de la France, 2 vols., 1911.
- Masson, P., Histoire de Commerce français dans le Levant au X<sup>VI</sup><sup>e</sup> siècle, 1903.
- ” Histoire de Commerce français dans le Levant au X<sup>VII</sup><sup>e</sup> siècle, 1910.
- Dalgren, Les relations commerciales et maritimes entre la France et les côtes de l'Océan Pacifique, 1909.
- Sée, H., Le commerce maritime en Bretagne aux X<sup>VII</sup><sup>e</sup> siècle.
- Boissonnade, P., Relations commerciales entre la France et la Grande Bretagne au X<sup>VI</sup><sup>e</sup> siècle, Rev. hist., 1920.
- 隆興紀略 0574  
Bonnassieux, P., Les grandes Compagnies de commerce, 1892.
- Weber, H., La Compagnie française des Indes, 1904.
- Masson, P., Les Compagnies du Corail, 1908.
- Kneppelin, P., Compagnie des Indes Orientales et François Martin, 1684-1719, 1908.
- Lévy-Breuil, Histoire juridique des sociétés de commerce en France aux X<sup>VII</sup><sup>e</sup> et X<sup>VIII</sup><sup>e</sup> siècles, 1933.
- ルネサンスの組織と経済の発展  
Kolland, H., L'organisation corporative à la veille de la Révolution française, 1938.
- Martin, F. O., L'organisation corporative de la France d'ancien régime, 1938.
- Rebillion, A., Les anciennes corporations ouvrières et marchandes de Rennes, 1902.
- Martin, S. L., Histoire des corporations des métiers, 1922.
- Jarlot, G. S. J., Le régime corporatif et les catholiques sociaux, 1938.
- ” L'organisation corporative du moyen âge à la fin de l'ancien régime, 1939.
- ④ 隆興紀略 0574 | 隆興紀略 0574  
Mantoux, P., La révolution industrielle au IX<sup>III</sup><sup>e</sup> siècle, 1905.
- Band, P., Une industrie d'Etat sous l'ancien régime, 1937.
- Hausser, H., Travaillleurs et marchands dans l'ancienne France, 1920.
- Chevalier, M., De l'industrie manufacturière en France, 1841.
- Nef, J. V., Industry and Government in France and England, 1540-1640, 1940.
- Bacquéts, F., Les inspecteurs des manufactures sous l'ancien régime, 1927.
- Havard, H. et Vachon, M., Les manufactures nationales, 1889.
- Martin, G., La grande industrie sous le régime de Louis XIV, 1899.
- ” La grande industrie sous le régime de Louis XV, 1900.
- Lévesseur, J., Histoire des classes ouvrières et de l'industrie en France avant, 1789, 1901.

- (tenuenau, L'organisation du travail à  
 Nevers X<sup>VI</sup><sup>e</sup> et X<sup>VII</sup><sup>e</sup> siècles, 1919.  
 " Travaillieurs et marchands  
 de l'ancienne France, 1920.  
 " Ouvriers du temps passé, 1899.  
 Grignaut, M., Histoire du travail et des  
 travaillieurs, 1931.  
 Brizon, Histoire du travail et des tra-  
 vaillieurs, 1931.  
 特殊労働の発達  
 Ragniez, Etudes sur l'industrie et la  
 classes industrielle à Paris, aux  
 X<sup>VI</sup><sup>e</sup> et X<sup>VII</sup><sup>e</sup> siècle, 1877.  
 Depons, H., Recherches sur l'état de  
 l'industrie des cuirs en France  
 pendant le X<sup>VI</sup><sup>e</sup> siècle et le début  
 du XIX<sup>e</sup> siècle, 1932.  
 Bourgin, G. & H., L'industrie sidé-  
 rgique en France au début de la  
 Révolution, 1920.  
 Rouff, M., Les Mines de charbon en  
 France au XVIII<sup>e</sup> siècle, 1922.  
 Levaiville, L'industrie du fer en  
 France, 1922.  
 Nicolai, A., Histoire des moulins à  
 papier du sud-ouest de la France,  
 1300-1800, 1936.  
 Deschamps, M., Les conditions écono-  
 miques de l'industrie du papier en  
 France à l'époque contemporaine,  
 1928.  
 R. Anstet, La Bas-Naine, 1917.  
 Hottenger, G., L'ancienne industrie de  
 fer en Lorraine, 1927.  
 Bourdais, F. et Durand, R., L'indus-  
 trie et le commerce de la toile en  
 Bretagne, 1922.  
 Hya, W., Histoire documentaire de  
 l'industrie à Mulhouse, 2 vols, 1902.  
 Lévy, R., L'industrie en Alsace, 1902.  
 織物工業の歴史と現在  
 Sée, H., Remarques sur le caractère de  
 l'industrie rurale en France et les  
 causes de son extension au XVIII<sup>e</sup>  
 siècle, Rev. hist., 48, (1923).  
 Tard, J., L'industrie rurale en France  
 au XVIII<sup>e</sup> siècle, 1910.  
 Smeller, Z. W., La naissance de l'in-  
 dustrie rurale dans les pays-bas  
 aux XVII<sup>e</sup> et XVIII<sup>e</sup> siècles.  
 特殊労働の発達  
 Marin Harvard の歴史  
 Tsipini, G., L'industrie dropière dans  
 la Flandre française au moyen âge,  
 1923.  
 Schmitt, A., Aperçu historique sur les  
 origines de la filature mécanique  
 du coton en France, 1930.  
 Pariset, E., Histoire de la fabrique  
 lyonnaise, 1901.  
 Wolowski, Henri W., économiste, In-  
 troduction de l'industrie de la soie  
 en France, 1925.  
 Reynier, E., La soie en Vivarais, 1921.  
 Clerget, P., Les industries de la soie en  
 France, 1925.  
 Lévy, R., Histoire économique de l'in-  
 dustrie cotonnière en Alsace, 1912.  
 Houdry, J., La filature du coton dans  
 le nord de la France, 1903.  
 Lion, E., Notes sur les travaux publics  
 et filature de coton établis à Rouen  
 dans les paroisses de Saint-Maclou,  
 Saint-Vivien et Saint-Nicaise en 17  
 68 et 1769, pour le soulagement des

- panvres et leur subsistance, 1933.  
 ② 最後のロンドン・ユール・システムに關する文獻  
 の整理とその意義を述べた
- Cole, C. W., Colbert and a Century  
 of French Mercantilism, 1939.
- Clément, P., Histoire de Colbert et de  
 son administration, 1874.
- Brandt, A. v., Beiträge zur Geschichte  
 der französischen Handelspolitik  
 von Colbert bis zur Gegenwart, 1896.
- Harsin, P., Crédit public et banque  
 d'état en France du X<sup>VI</sup><sup>e</sup> au X<sup>VIII</sup><sup>e</sup>  
 siècle, 1933.
- Boissonnade, P., Le socialisme d'état,  
 l'industrie et les classes industrielle  
 en France pendant les deux pre-  
 miers siècles de l'ère moderne, 1453-  
 1661.
- ” Colbert et la Com-  
 pagnie de Commerce de Nord, 1930.
- ” Colbert, le triomphe  
 de l'étatisme, la fondation de la  
 suprématie industrielle de la  
 France, la dictature de travail, 1661-  
 1683, 1932.
- Comby, J. M., Mercantilisme et protec-  
 tionisme, 1930.
- Harsin, P., Les doctrines monétaires  
 et financières en France de XVII<sup>e</sup>  
 au XVIII<sup>e</sup> siècle, 1928.
- Cénonnet, P., Histoire du système pro-  
 tecteur en France, 1854.
- Marchal, A., La conception de l'éco-  
 nomie nationale et des rapports inter-  
 nationaux chez les mercantilistes  
 français et leur contemporains, 1931.
- Mauguin, Études historiques sur l'ad-  
 ministration de l'agriculture en  
 contôle général des finances, 1882.
- Cordier, G., Les compagnies à chartes  
 et la politique coloniale sous le  
 règne de Colbert, 1906.
- 〔1〕 次のキリンの書籍の目録を  
 なげればなるが如く
- 〔2〕 先づ「経済学」の目録
- Ashley, J. W., The Economic Organi-  
 zation of England, 1914.  
 (徳増繁太郎譯「英國經濟組織の史序  
 考察」昭和五年)
- ” An Introduction to Eng-  
 lish Economic History and Theory,  
 2 vols., 1888-93. (野村兼太郎譯「英  
 國經濟史及學說」昭和七年)
- Japson, D., An Introduction to the  
 Economic History of England, 1915.
- Cunningham, W., The Growth of Eng-  
 lish Industry and Commerce, 2 vols.,  
 1910-1912.
- Unwin, G., Industrial Organization in  
 the 16th and 17th Centuries, 1904.
- Mantoux, P., The Industrial Revolu-  
 tion in the 18th Century, trans. by  
 Vernon, M., 1927.
- Ockenkowsky, W. v., Englands wirt-  
 schaftliche Entwicklung im Aus-  
 gang des Mittelalters, 1879.
- Brentano, L., Eine Geschichte der  
 wirtschaftlichen Entwicklung Eng-  
 lands, 3 Bde., 1927-29.
- Dietz, F. G., A Political and Social  
 History of England, 1937.
- Meredith, H. O., Outlines of Economic  
 History of England, 1936.
- Usher, A. P., Introduction to the In-  
 dustrial History of England, 1921.

Brodnitz, G., Englishse Wirtschaftsgeschichte, 1918.

Der Wirtschaftsliberalismus in England, 1921.

Tawney, R. H., Religion and the Rise of Capitalism.

Cherney, E. P., An Introduction to the Industrial and Social History of England, 1921.

Slater, G., The Growth of Modern England, 1937.

Weber, M., Die protestantische Ethik und die "Geist" des Kapitalismus, (1904-5).

Cunningham, W. & MeArthur, J. A., Outline of English Industrial History, 1918.

Hasbach, W., A History of English Agricultural Labour, 1920.

Zur Charakteristik der englischen Industrie, 1902.

Price, L. L., A Short History of English Commerce and Industry, 1900.

Rogers, J. E. T., Six Centuries of Work and Wages, 1844.

Walker, P. C. G., Capitalism and the Reformation, Ec. H. R. Ⅲ/1, (1937)

Sée, H., Les origines du Capitalisme moderne, 1928.

Nef, J. U., Prices and Industrial Capitalism in France and England, 1540-1640, Ec. H. R. Ⅳ/2, (1937).

野村兼太郎 「英國資本主義の成立過程」 昭和十二年。  
木位田雅男 「改訂英國經濟史要」 昭和十年。

Sombart, W., Der moderne Kapitalismus, 3 Bde, 1902. (岡崎次郎譯 「近世資本主義」 昭和十七年)。

Busch, W., A History of England under the Tudors.

堀江英一 「西洋經濟史」 昭和二十五年。  
社會經濟史學會編 「社會經濟史學の發達」 昭和十九年。

Dobb, M., Capitalist Enterprise and Social Progress, 1926.

Abnam, A., Social England in the 15th Century, 1900.

堀江英一 「英吉利社會經濟史」 昭和九年。  
高橋幸八郎編 「近代資本主義の成立」 昭和二十五年。

Levy, H., Die Grundlagen des ökonomischen Liberalismus in der Geschichte der englischen Volkswirtschaft, 1912.

Denton, W., England in the 15th Century, 1888.

Baker, J. N. B., England in the 17th Century.

Trevelyan, G. M., England under the Stuarts, 1905.

Trevelyan, G. M., England under the Stuarts, 1905.

野村兼太郎 「近代資本主義の成立」 昭和十二年。  
Tawney, R. H., Studie in Bibliography, Ec. H. R. IV/3 (1933).

Bland, A. E., Brown, P. A. & Tawney,

R. H., English Economic History, Select Documents, 1914.

Tawney, P. H. & Power, E., Tudor

Economic Documents, 3 vols., 1924, 卷一、二、三

Encyclopaedia of the Social Sciences, ed.

by Seligman, E. R. A., 1931.

㉒ 補遺 德川時代の農業と農村の歴史

三編 終巻 卷一、二

Rogers, J. J. T., A History of Agriculture and Prices in England, 8 vols., 1863-87.

1863-87.

Prothero, R. E., English Farming, Past and Present, 1912.

” Piomers Progress of

English Farming, 1888.

Marx, K. Das Kapital, 1867-1894.

Chenery, E. P., Social Changes in England in the 16th Century, 1912.

” Disappearance of Eng-

lish Serfdom; Ec. H. R. vol. XV.

Levy, H., Entstehung und Rückgang des landwirtschaftlichen Grosstob-

ribs in England, 1904.

Garnier, R. M., History of the English Landed Interest 1908.

Ashley, W. J., Comparative Economic

History and English Landlord; The Economic Journal, XXIII/90 (1913)

Johnson, A. H., The Disappearance

of the Small Landowner, 1900.

Levy, H., Der Übergang klein bauerlicher Betriebe in England; Jahrbuch f. Nationalökonomie und Statistik, III. F. XXVI (1903).

Hasbach, W., Der Übergang des englischen Bauernstandes in neuer

Beleuchtung; Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialp., XXV.

Savine, A., English Customary Tenure; Quarterly Journal of Economics, vol

XIX.

” British Monasteries on the

Eve of the Reformation; Vinogradoff (ed.), Oxford Studies in Social and Legal History, vol. I, (1909).

Habakuk, H. J., English Landowner-

ship, 1680-1740; Ec. H. R., X/1, (1940).

Lenhard, R., Rural Northamptonshire under the Commonwealth, A Study

based principally upon the Parliamentary Surveys of the Royal Estates; Vinogradoff (ed.), Oxford

Studies in Social and Legal History, Vol. V.

Mortner, J., The Whole Art of Husbandry or the Way of Managing

and Improving of Land, 1707.

Jossep, A., The Coming of the Friars, 1889.

Gray, H. E., The Commutation of Villain Services before the Black

Death; Ec. H. R. (1914).

Kosminsky, L. A., Services and Money Rents in the 13th Century; Ec. H. R. V/2, (1935).

Robbins, H., A Comparison of the

Effects of the Black Death on the Economic Organization of France

and England; Journal of Political Economy, (1928).

”

”

”

”



Tawney, R. H., *Agrarian Problem in the 16th Century*, 1912.

Mariti, O. A., *Economic Causes of the Reformation in England*, 1929.

Davis, T., *General View of the Agriculture of the County of Wiltshire*, 1794.

Page, T. W., *The Land of Villainage in England*, 1900.

普川 田ノルノルニ關スル研究 (Ishikawa Kenkyū) (I), K. F., *Zur Geschichte der Einkünfte in England*, 1902.

" *Inclosures in England in the 16th Century*; *Quarterly Journal of Economics*, XVII/4, (1903).

Tomner, E. C. R., *Common Land and Inclosure*, 1912.

" *The Progress of Inclosure during the 17th Century*; *The English Historical Review*, vol. XXIII, no. xc1 (1908).

Nasse, J., *Über die mittelalterliche Feldgemeinschaft und die Einkünfte des 16. Jahrhunderts in England*, 1869.

Bishop, T. A. M., *The Distribution of Manorial Demesne in the Vale of Yorkshire*; *Ec. H. R.*, CXXV.

Leonard, E. M., *The Inclosure of Common Fields in the 17th Century*; *Transactions of the Royal Historical Society*, New Series, vol. XIX, (1905).

Bradley, H., *The Inclosure in England*, 1918.

Leadam, I. S., *The Domesday of Inclosure*, 1517-1518, 1897.

" *Security of Copyholders*; *Ec. H. R.*, VIII.

Slater, G., *The English Peasantry and the Inclosure of Common Fields*, 1907.

Church, W. H. R., *The Inclosure and Redistribution of Our Land*, 1920.

Postan, M. M., *The Fifteenth Century*; *Ec. H. R.*, IX/2.

福澤 一 紀ノオソル (Fukuzawa Issa) (I)

Powell, J., *The Peasant Rising in Last Anglia in 1381*.

Kriehm, G., *Studies in the Sources of the Social Revolt of 1381*; *American Historical Review*, vol. VII, (1901-2).

Petit-Dutailis, *Introduction to a Réville. Se soulèvement des travailleurs d'Angletene en 1381*, 1898.

Onan, C., *The Great Revolt of 1381*, 1908.

Threvelyan, G. M., *England in the Age of Wycliff*, 1901.

" *The Peasant Rising and the Lollarde*, 1906.

大 島 繁 三 郎 (Ōshima Shinsaburō) (I)

Leonard, E. M., *The Early History of English Poor Relief*.

Clay, J. P., *The Inquisitions of Depopulation in 1517*; *Transactions of the Royal Historical Society*, vol. XIV.

" *The Midland Revolt and the Inquisitions of Depopulation of 1607*; *Transactions of the Royal Soc.*, vol. XXVII, (1904).

小 松 芳 喬 (小松 芳 喬) (Kōmatsu Yūkyō) (I)

昭和十九年

昭和十九年 「封建英國とその崩壊過程」

同 「十七世紀英國に於ける國勢」

- の連続性に就いて』(小野武夫博士記念論文集「西洋農業史研究」昭和二十三年所収)
- 入交 好 脩「社会経済史研究」昭和十八年  
同 「封建社会の構造」昭和二十五年。  
同 「近世経済史上の問題史的系譜」昭和二十三年。  
本位田藤男「トーマス・モアのユートピアを通じて見たる當時の経済状態」(「経済史研究」昭和二年所収)。  
⑤ \* \* \* \* ⑥ 梁 卓 鑑 次 田 濤 著  
Unwin, G., The Industrial Organization in the 16th and 17th Centuries.  
" The Guilds and Companies of London, 1908.  
Brentano, J., On the History and Development of the Guilds, 1870.  
Kramer, S., The English Craft Guilds and the Government, 1905.  
" The English Craft Guilds. Studies in their Progress and Decline, 1927.  
" The Amalgamation of the English Mercantile Crafts; Ibc. 11.  
R. XXIII.  
Lambert, J. M., Two Thousand years of Guild Life, 1891.  
Smith, J. T., English Guilds, 1870.  
Hibbert, F. A., Influence and Development of English Guilds, 1891.  
Salzmann, L. F., English Industries of the Middle Ages, 1928.  
Herbert, W., Twelve Great Livery Companies, 1884.  
Cotton, W., An Elizabethan Guild of Fxeter, 1873.  
Consett, F., The London Weavers' Company.  
Glode, C. M., Early History of the Merchant Tailors' Company, 2 vols., 1888.  
Black, W. J., History of the Leather-sellers' Company, 1871.  
Mieloll, J., History of the Ironmongers' Company, 1866.  
⑥ 梁 卓 鑑 次 田 濤 著  
Wheeler, J., A Treatise of Commerce, 1601.  
Gee, J., The Trade and Navigation of Great Britain, 1680.  
King, C., The British Merchant 3 vols., 1731.  
Whitworth, C., State of the Trade of Great Britain in its Imports and Exports progressively from the Year 1697, 1776.  
Postan, M. M. & Pover, E. (ed.), Studies in English Trade in the 15th Century, 1933.  
Ashley, M. P., Financial and Commercial Policy under the Cromwellian Protectorate, 1934.  
Schanz, G., Englische Handelspolitik gegen Lände des Mittelalters mit besonderer Berücksichtigung des Zeitalters der beiden ersten Tindors Heinrich VII und Heinrich VIII, 2 Bde., 1881.  
Lucas, S. P., The Beginnings of English Overseas Enterprise, 1917.  
Postan, M. M., Credit in Medieval Trade; Ibc. II. R. 1/2, (1928).  
Unwin, G., Indian Factories in the 18th Century; in Studies in the

- Economic History, 1927.
- “ Commerce and Coinage in Shakespeare's England; in *Studies in the History of the Middle Ages*, 1895.
- Macpherson, D., *Annals of Commerce*, 4 vols., 1895.
- Salzmann, L. F., *English Trade in the Middle Ages*, 1931.
- Tras, N. S. B., *The Evolution of the English Corn Market*, 1915.
- (Hinsp), *Alien Merchants in England; Trans. Royal Hist. Soc., New Series*, vol. IX.
- Andrews, C. M., *Anglo-French Commercial Rivalry; American Historical Review*, XX, (1905).
- Hansen, Der englische Staatskredit unter König Edward III. (1327-1377) und die hauseische Kaufleute, 1910.
- Clark, G. N., *War Trade and Trade War, 1701-1713.*
- Durham, *Relations of the Corn to Trade under James I.*
- Nunn, L. B., *Brice Fisher, M.P.: Annals of the Eighteenth Century Merchant and his Connections; Engl. hist. Rev.* X III, (1927).
- Sutherland, S., *The Accounts of the 18th Century Merchant; The Hist. Mag.* III/3, (1932).
- Ambrose, G., *English Traders at Aleppo, 1653-1756; The Hist. Mag.* III/2, (1931).
- Barbour, V., *Dutch and English Merchant Shipping; The Hist. Mag.* II/2, (1930).
- MacLachlan, J. O., *Trade and Peace with Old Spain, 1667-1755.*
- Knowles, I. G. A., *The Economic Development of the British Overseas Empire*, 3 vols., 1924.
- Shevrens & Birdwood, *The Dawn of British Trade to the East Indies.*
- Khan, S. A., *The East India Trade in the 17th Century*, 1928.
- Kashima, B., *Commercial Relations between India and England, 1601-1753, 1924.*
- Foster, W., *England's Quest of Eastern Trade, 1638.*
- Baumgarten, M., *Geschichte der Handelskrisen in England im Zusammenhang mit der Entwicklung des englischen Wirtschaftslebens, 1640-1840, 1908.*
- Lindsay, W. S., *History of Merchant Shipping and Ancient Commerce, 1873-84.*
- Mitchell, W., *An Essay on the Early History of the Law Merchant, 1904.*
- Jencks, A. L., *The Staple of England, 1908.*
- Hewins, W. A. S., *English Trade and Finance chiefly in the 17th Century, 1892.*
- Harper, L. A., *Navigation Law, 1655.*
- Scott, W. R., *The Constitution and Finance of English, Scottish and Irish Joint-Stock Companies to 1720.*
- Längebach, W. Jr., *The Internal Organization of the Merchant Adventurers of England; Trans of Roy. Hist. Soc., New Series*, vol. XVI, (1901).

- Brakel, S. v., Die Entwickelung und Organization der Merkant-Adventures, V. L. Pozz. u. W. G., V/3, (1907).
- Garrus-Wilson, E. M., The Origins and Early Development of the Merchant Adventurers', Organization in London as shown in their own, Medieval Records; Vol. II, R., IV/2, (1933).
- Boyle, J. R. & Dendry, F. W., New Castle Adventurers, 1895.
- Wood, A. G., A History of the Levant Company, 1935.
- Shaw, J., Charters relating to the East India Company from 1600 to 1761, 1887.
- Birdwood & Foster, The First Letter Book of the East India Company.
- Seller, M., The Acts and Ordinances of the Eastland Company, 1906.
- Fisher, F. J., Some Experiments in Company Organization in the Early 17th Century; Ec. H. R. W/2, (1933)
- Lipson, J., An Introduction to the Economic History of England, vol. II, 大塚久雄「株式會社發生史論」二卷, 昭和二十二年.  
 註「谷澤」重富「鹽」の歴史  
 Andreades, A., History of the Bank of England, 1909. (明川義一譯「英國銀行史」)
- Francis, J., History of Bank of England.  
 Rogers, J. R. T., First Nine Years of the Bank of England, 1897.
- Richards, R. J., The Early History of Banking in England, 1929.
- Bischoff, W. R., The Rise of the London Money Market, 1910.
- Saw, W. A., Select Tracts and Documents Illustrated of English Monetary History, 1616-1739, 1896.
- Took, T., A History of Price and of the State of the Circulation, 1838.
- Doubleday, T., A Financial Monetary and Statistical History of England from the Revolution of 1688 to the Present Time, 1847.
- Gins, N. S. B., Early English Customs System, 1918.
- Terry, S. B., The Finance of the Hundred Years' War, 1914.  
 ①「ローランド」の歴史と地理  
 Smith, A. Wealth of Nations, 1776.  
 Heckscher, J. F., Der Merkantilismus, 1932.  
 ” Art "Mercantilism",  
 ” Encyclopaedia of Social Science.  
 ” R. W/1, (1916).  
 Schmoller G., Der Merkantilismus in seiner historischen Bedeutung.  
 (正木一夫譯「重商主義とその歴史的意義」附十九年)
- Lipson, J., An Introduction to the Economic History of England, Chap. VII, Mercantile System.  
 Cunningham, W., The Growth of English Industry and commerce, Chap. VI, The Mercantile System.  
 List, F., Das national System der politischen Oekonomie, 1841. (谷口吉彦, 正木一夫譯「國民經濟學體系」昭和十五年?)  
 Henton, H., Heckscher on Mercantilism; Journal of Political Econo-

my. (1937).

Schacht, H., Der theoretische Gehalt des englischen Merkantilismus, 1900.

Thomas, P. J., Mercantilism and the East India Trade, 1926.

Seeley, J. R., The Expansion of England, 1886.

McInnes, G. M., An Introduction to the Economic History of British Empire, 1935.

Knowles, L. C. A., The Economic Development of the British Overseas Empire, vol. 1, 1928.

Beer, G. I., The Origin of the Old Colonial System, 1578-1660, 1908.

„ The Old Colonial System, 1660-1754, 2 vols., 1912.

Jegerton, H. E., A Short History of British Colonial Policy, 1924.

Andrews, C. M., The Colonial Period of American History, vol IV, England's Commercial and Colonial Policies, 1935.

Mum, T., England's Treasure by Foreign Trade. (張英格「外國貿易によるイギ

スの財力」昭和十七年、堀江英一・河野健二共譯「重商主義論」昭和十七年)。

Ashley, M. P., Financial and Commercial Policy under the Cromwellian Protectorate, 1934.

Nettelbladt, C., British Policy and Colonial Money Supply; Jc. II. L. III/2, (1931).

高橋誠一郎「重商主義經濟學研究」昭和十七年

岡 「イギリス重商主義の商人主義的性質」(社會經濟史學十ノ四)

黒田謙一「重商主義政策變遷史」

矢口孝次郎「イギリス帝國主義史論」昭和十八年

岡 「イギリス政治經濟史」昭和十年

河野健二「經濟主義の構造」昭和二十年

同 「重商主義解釋の問題」(經濟學研究三)

小林 昇「重商主義の原籍について」(南學論十三ノ一・二)

張 渡 裕「トーマス・ペンの差額貿易論」(經濟學論集十ノ七)

同 「名譽革命前後に於けるイギリス重商主義の本質」(同誌十一ノ七)

同 「重商主義植民地政策の實體」(同誌十三ノ三)

白杉庄一郎「近世西洋經濟史研究序説」(重商主義政策史論)「昭和二十五年」

ゾロトニコフ、橋本弘毅譯「重商主義論叢」昭和十三年

服部之總「塔爾斯絕對主義論」昭和二十四年

堀江英一「本源的蓄積における國家權力の問題」(季刊社會科學第一集)

同 「原始階級の類型」(經濟學論)昭和二十四年六月號)

松ノイロ「露土」の三三三三問題から論ずる露土關係の結ぶる

Levy, H., Monopole, Kartelle und Trusts in der Geschichte und Gegenwart der englischen Industrie, 1927.

Price, English Patent of Monopoly. Le Rossignol, J. B., Monopoly, Past and Present, 1901.

堀江英一「初期獨占」(經濟論叢六四ノ四・五・六)

同

同

(3) 手続物工業に關するもの手続はれせ

(4) 法律ニシテは其の如きものがあ

(5) 公文記録ニシテ

Statutes of the Realm.

Rolls of Parliament.

Patent Rolls.

Close Rolls.

Pipe Rolls.

Rymer's Foedera.

Domesday-Book.

Hundred Rolls.

Charter Rolls.

Fine Rolls.

Chancery Rolls.

Reports of the Historical Manuscripts  
(Commission).

Materials for the History of Henry VI.

Letters and Papers of Henry VIII.

Domestic State Papers.

Acts of the Privy Council.

Acts of the Interregnum.

Journals of the House of Commons.

Journals of the House of Lords.

Venetian State Papers.

Court of Requests.

Grawford's Proclamations.

(6) 幕府の記録ニシテ

Beverley (Leach, Town Documents).

Bristol (Bickley, Little Red Book).

Cardiff (Matthiews, Records).

Colchester (Bentham, Red Paper Book).

Covenry (Horris, Last Book).

Honchester (Stevenson, Corporation Records).

Leicester (Birtson, Records).

London (Sharpe, Letter Books; Wiley,

Liber Albus, Liber Custumarum,

Memorials).

Northampton (Markham Records).

Norwich (Hudson and Tinger, Records.

Nottingham (Stevenson, Records).

Oxford (Turner, Records).

Reading (Grinding Secords).

Southampton (Studer, Oak Book; Gidd-

den Letters Patent; Wallis Chap-

man, Black Book).

York (Sellers, Memorandum Book).

(7) 幕府手紙の歴史に關するものニシテ

Abreu (History of Blackburn).

E. Baines (History of Lancashire).

T. Baines (Yorkshire Past and Present).

Ballard (Chronicles of Woodstock).

Blomefield (Norfolk).

Boyce (Memoirs of Tiverton).

Coates (History of Reading).

Collinson (History of Somersetshire).

Cromwell (History of Colchester).

Davies (Records of York).

Drake (Biborum).

Dunsford (Tiverton).

Byton (Antiquities of Shropshire).

Farrer (Early Yorkshire Charters).

Fox (Fifth of Wenuesin Bristol; Mer-

chant Taryons of Bristol).

Green (History of Worcester).

Hall (Ancient Charters of Sheffield;

Charters relating to Sheffield).

Harding (History of Tiverton).

Harland (Manucestre).

Hudson (Leet Jurisdiction in Norwich).

Johnson (Drypers of London).

Kaumer (MERCHANT VENTURERS' SOCIETY,

Bristol).

History of Newbury and its Environs.

Noake (Worcester).

- Poiwhele (History of Cornwall).  
 Poulson (Benevolency).  
 Powell (A Suffolk Hundred).  
 Risdon (Description of Devon).  
 Rudder (History of Cirencester).  
 Seger (Memoirs of Bristol).  
 Smith (English Gilds).  
 Thoresby (Topography of Leeds).  
 Tomlin (History of Taunton).  
 Victoria County Histories.  
 Warner (History of Bath).  
 Watson (History of Halifax).  
 Westcote (View of Devonshire).  
 Woddespoon (Memoirs of Ipswich).  
 (『イプスウィッチ紀』) 註  
 Antiquaries of Scotland (Proceedings).  
 Archaeological Journal.  
 Bradford Chamber of Commerce (Reports).  
 British Archaeological Association.  
 Bristol and Gloucestershire Archaeological Society.  
 Devonshire Association (Transactions).  
 Economic Journal.  
 Economic History Review.
- English Historical Review.  
 Gaelic Society of Inverness.  
 London and Middlesex Archaeological Society.  
 Notes and Queries.  
 Oxford Historical Society.  
 Somerset Quarter Sessions Records.  
 Somersetshire Archaeological Society.  
 Statistical Journal.  
 Sussex Archaeological Collections.  
 Suffolk Institute.  
 Uster Journal.  
 Wiltshire Archaeological Magazine.  
 (With these may be grouped the eighteenth-century publications—the British Merchant, the Gentleman's Magazine, the London Journal, the Manufacturer, the Pamphleteer, and the Weaver.)  
 (『英商』 『紳士』 『倫敦』 『製造』 『手織』)  
 A Discourse of the Common Weal of This Realm of England (ed. by Lammond)  
 Alkin (Description of the Country round Manchester).
- Ashby (Poems, ed. Bateson).  
 Bakewell (Observation on the Influence of Soil and Climate upon Wool).  
 Bacon (Essays)  
 Bannard (Dialect of South Lancashire).  
 Black Book of the Admiralty.  
 Burnett (History of the Reformation, ed. Pocock).  
 Gauden (Britannia).  
 Chamberlayne (Anglia Notitia).  
 Chaucer (Canterbury Tales).  
 Coke (Second Part of the Institutes).  
 Collinge (The Weaver's Pocket-Book).  
 Delfo (Tour through Great Britain ed. 1714; A Plan of English Commerce, 1728; The Complete English Tradesman).  
 Delory (Works, ed. Mann).  
 Dryden (King Arthur).  
 Eden (State of the Poor).  
 Fuller (Church History, Worthies of England).  
 Gaskell (Artsans and Machinery; Manufacturing Population of England).

- Glyde (New Suffolk Garland).
- Hale (Primitive Organisation of Man-kind; A Discours touching Provision for the Poor).
- Hallwell (Norfolk Anthology).
- Halsam (The Handloom Weaver's Daughter).
- Hazlitt (Fugitive Poetical Tracts).
- Italian Relation of England (Cranden Soc. Pub.).
- Kingsford (English Historical Literature in the Fifteenth Century).
- Leland (Itinerary, ed. Smith; Letter Books of Commerce).
- Langland (Piers Plowman)
- Latimer (Sermons)
- Lever (Sermons).
- Mobox (History of the Exchequer).
- May (Declaration of the Estate of Cloathing).
- Misselden (Circle of Commerce).
- Moens (Dutch Church at Colchester; Walloon Church of Norwich).
- More (Utopia).
- Ogle (Royal Letters addressed to Oxford).
- Pauli (Drei volkswirtschaftliche Denkschriften).
- Pennant (Tour in Scotland and Voyage to the Hebrides).
- Political Poems and Songs (ed. Wright).
- Postlethwyte (Dictionary of Trade and Commerce).
- Records of a Scottish Cloth Manufactory at New Mills, Haddingtonshire (ed. Scott).
- Report of the Highland Society of Scotland on Shieland Wood (Appendix IV)
- Riecart's Kalender (ed. L. T. Smith).
- Carr (Select Charters of Trading Companies, 1530-1707).
- Sharpe (Calendar of wills).
- Smith (Memoirs of Wool).
- Stow (Survey of London, ed. Kingsford).
- Swift, J. (Journal to Stella, ed. Aiken).
- Taylor, W. C. (Tour in the Manufaturing Districts of Lancashire).
- Wimmer and Waster (ed. Gollancz).
- Yarranton (England's Improvement).
- Young (Six Months' Tour)
- 巴魯 (Cotton Industry).
- 巴魯 (History and principles of Weaving).
- 貝克 (The Draper's Dictionary).
- 巴爾尼 (History of Wool and Wool-Combing).
- 卡特wright (Memoir of Edmund Cartwright).
- 多布森 (Evolution of the Spinning Machine).
- 字典 (National Biography).
- 丹南 (Essays on the Art of Weaving).
- 戴爾 (The Fleece).
- 埃平納斯 (Lancashire Worthies).
- 法蘭西 (Life and Time of Crompton, with an Appendix by R. Cole).
- 葛雷 (Treatise on Spinning Machinery).
- 葛斯特 (Compendious History of the Cotton Manufacture).
- 肯尼迪 (Brief Memoir of Crompton in Memoirs of the Literary and Philosophical Society of Manches-



ter, 2nd Ser., V.).

Incecock (Wool).

Raddiffe (Origin of Power-Loom Weaving).

Smiles (Huguenots).

Watts Young Man's Looking-Glass).

Woodcroft (Brief Biographies of Inventors).

Wright (Volume of Vocabulary, containing the Dictionary of John de Garlande).

(以上の資料はリブソンの書物に拠つた)  
② 中世と近世の文藝を論ずるハルベグ  
とカネシキの著書に於て

Lipson, E., The History of the English Woolen and Worsted Industries, 1921.

" An Introduction to the Economic History of England, Vol.

I, Chap. IX, The Woolen Industry.

Ashley, W. G., An Introduction to English Economic History and Theory, Vol. I, Part II, Chap. III, The Woolen Industry.

Heaton, H., The Yorkshire Woollen

and Worsted Industries from the Earliest Time up to the Industrial Revolution, 1920

Dechesne, L., *Hévoluition économique et sociale de l'industrie de la laine Angletere*, 1900.

Bischoff, *Comprehensive History of the Woolen and Worsted Manufactures*, 2 Vols, 1842.

Unwin, G., *Industrial Organization in the 16th and 17th Centuries*.

" *The History of the (Wool) Industry in Suffolk; in Studies in Economic History*, (1927).

Chapman, J. H., *Woolen and Worsted Industries*, 1907.

" *Industrial Organization of the Yorkshire Woolen and Worsted Industries*; *Ec. Journal*, XVII, (1906).

" *The Transference of Worsted Industry from East Anglia to the West Riding*; *Ec. Journal*, XXI, (1910).

Lohmann, F., *Die staatliche Regelung der englischen Wollindustrie von*

X V. bis zum X VIII. Jahrhundert, 1900  
Furgen, P., *Zur Verlagsystem als Organisationsform des Frühkapitalismus in Textilgewerbe*, 1937.

492

Gray, H. E., *The Production and Exportation of English Wools in the 14th Century*; *Ec. II. R. XXXIX.*

Whitwell, R. J., *English Monasteries and the Wool Trade in the 14th Century*; *V. f. Soz.-u. W.G., II.* (1904).

Schanbe, A., *Die Wollausfuhr Englands vom Jahre 1273; V. f. Soz.-u. W.G., VI.* (1908).

Power, E., *The Wool Trade in English Medieval History*, 1941.

Jones, J., *History of the Worsted Manufacturing in England*, 1851.

Eris, A., *Alderman Cockayne's Project and the Cloth Trade*, 1927.

Heaton, H., *The Assessment of Wages in the West Riding of Yorkshire in the 17th and 18th Centuries*, *Ec.*

Journal, (1914).

大塚久雄「近代歐洲經濟史序説」昭和十三年

Unwin, G., The Economic Policy of

1800, ed. by Darby.  
Williams, D. T., Medieval Foreign Trade; Westernports.

同 「近代資本主義の系譜」昭和十二年  
同 「綿織運動と農村工業」(小野武夫  
博士還暦記念論文集「西洋農業經濟史  
研究」昭和二十三年所収)

Edward III; in Studies in Economic History. (1927).

”; Easternports.

小原敬士「イギリスに於ける毛織物工業の發展とその地理的條件」横濱商學  
研究論集第十六輯)

Introduction to the Poor

Pelham, R. A., Fourteenth Century.

野村兼太郎「初期資本形態としてのClo-  
thier」(社會經濟史學—ノ—)

Husbandman's advocate to Rich

Taylor, E. G. R., Ireland's England.

堀江英一「開墾制度の歴史的性質」(經  
濟論叢四九六)

Racking Landlords; in Studies in

Passf, W. G., England in the 17th

安部隆一「開墾生産について」(經濟學  
雜誌七ノ三)

McCaff, L. U., England on the Eve of

Century.

矢口孝次郎「資本主義初期における産業  
資本と對商業資本の問題」(關西大學人文  
科學論集四)

the Industrial Revolution, 1925.

Bunn, J. S., History of French, Wal-

織工業の歴史の終る織工業の歴史

Nef, J. U., The Progress of Technology

loom, Dutch and other Foreign Pro-

Nef, J. U., The Rise of the British Coal  
Industry, 2 vols, 1924.

Industry in Great Britain, 1540-1640;

testant Refugees Settled in Eng-

Ashton, T. S., Iron and Steel in the  
Industrial Revolution, 1924.

Ec. II. R. V/L. (934).

land, 1846.

Hannilton, H., The English Brass and  
Copper Industry to 1810.

Ec. II. R. V/L. (934).

Channingham, W., Alien Immigrants

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

Company, 1923.

in England, 1879.

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

Tawney, A. J. & R. H., An Occupa-

Wadsworth & Mann, L., The Cotton

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

tional Census of the 17th Century;

Trade and Industrial Lancashire,

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

Ec. II. R. V/L. (1934).

1680-1780, 1931.

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

Westernfeld, R. B., Middlemen in Eng-

Chapman, S. J., The Lancashire Cotton

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

ish Business, 1915.

Industries, A., Study in Economic

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

Development, 1904.

Daniels, G. W., The Early English Cot-

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

ton Industry, 1920.

Development, 1904.

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

Class, 1917.

Development, 1904.

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

Historical Geography of England before

Development, 1904.

同 「近代資本主義の系譜」(所収)

〔人文地理關係〕

一 世界全域

(一) 總

日本紡績協會 最近における綿紡績事情

日本と中南米 九月 昭五

佐々木彦一郎 棉花の經濟地理的研究 地理學評論五ノ八 昭四

濱野恭平 世界綿工業の重心移動 企業經營六ノ四 昭七

Bader Louis: World developments in the cotton industry. New York. 1925.

Bigwood, George: Cotton. London. 1918.

Bigwood, G.: Cotton. London. 1918. 203 p.

Bonne, C. P.: Le cotonnier. S. J. d. G. Marit Colon. Paris. 1929.

Chapman, S. J.: Cotton History and Trade. London. 1905.

Collings, G.: The production of cotton. New York. 1926.

Heizmann, H.: Die Baumwolle, insbesondere deren Kultur, Geschichte und Handel. Zurich.

Heizmann, H.: Amerikanische Baumwolle in den letzten drei Jahrzehnten sowie der Baumwollanbau in britischen Weltreich. Beih. z. Tropenpfl. X 冊 1918. H. 3u. 4. 254 S.

Hennings: Der Baumwollkulturkampf. Zschr. f. Kol-Pol. 1915.

Hefferrich: Die Baumwollfrage. Marinerundschaun. 1904.

Hubbard, W. H.: Cotton and the cotton market. London. 1925.

Johnson, W. H.: Cotton and its products. New York. 1916.

König, P.: Der Baumwollweltmarkt in seiner Entwicklung während des Krieges bis zum Friedensschluss. Tagesfrage der Anslandwirtschaft. Heft. 3. Berlin. 1919. 160 S.

Krinzlin, G. u. Moreno, A.: Baumwolle. Wohnmann-Büch., Bd. 9. Berlin-Charlottenburg u. Leipzig. 1931.

Oppel, A.: Der Anbau der Baumwolle in Abhängigkeit von Klima u. Boden. Geogr. Zeitschr. 1914.

Prietsch, M.: Die Baumwolle. Leipzig 1920.

Satyandamm, P.: Cotton marketing. Indian Jl. of Econ., 5 (Jan) 1935.

Schery, James: Cotton as a world power: a study in economic interpretation of history. New York. 1916. 452 p.

Schürder, W.: Die Baumwolle, eine wirtschaftsgeographische Monographie. Diss. Greifswald. 1932. 79 S.

Stenckart, G.: Die Baumwolle. Ihre Herkunft, Vereinigung, Geschichte, Bedeutung. Leipzig. 1914. 66 S.

Stüpf, K.: Deutsch-Koloniale Baumwollunternehmungen. Tropenpfl. NW. 1910. Beiheft 1. Nr. 3.

Todd, J.: The cotton world. New York. 1927. 244 p.

Vance, R.: Human factors in cotton culture. Shapel Hill. 1929. 337 p.

Ward, J. S. M.: Cotton and wool. London. 1921.

Hesz, F.: Die neuere Entwicklung der

(二) 非 帶

日本經濟叢書 羊毛の生産と消費の地理

三才〇三才

- Wollindustrie in den überseeischen  
Wollexportländern. Weltwirtsch.  
Arch.
- Janovsky, K.: Die Wollindustrie. Wirt-  
schaftsgeogr. Karten u.  
Abb. z. Wirtschaftsgeogr. v. Oester-  
reich-Ungarn, H. 15. Wien, 1918.  
78 S.
- Pietsch, M.: Die Wolle. Leipzig 1920.
- Pietsch, M.: *Wollerzeugung und Woll-  
handel der Welt vor und nach dem  
Weltkriege*. Agrarpol. Vorträge u.  
Aufsätze, H. 15.
- Ritter, K.: Die Wolle. Leipzig. 1920.  
80 S.
- Rose, E.: Die Wolle auf dem Welt-  
markt. Textind. u. Felleldungs-  
gewerbe in d. Kriegs-u. Übergangs-  
zeit. II. 1. Berlin. 1919.
- Shimmin, N.: The present position  
and prospects in the wool textile in-  
dustry. London. 1925.
- (四) 蠶
- Büttel, M.: Die Seide auf dem Welt-  
markt. Berlin, 1919. S. 72.
- Copeland, Melvin T. and Turner, W.  
Homer: Production and Distribu-  
tion of silk and rayon broad goods.  
New York. 1935.
- Jacobi, G.: Wirtschaftsgeographie der  
Seide. Berlin. 1932.
- Silbemann, H.: Die Seide, ihre Gesell-  
schafliche Gewinnung und Verarbeit-  
ung. 2 Bde. 1897-98.  
海外諸國に於ける人絹蠶業に關する  
日本銀行調査局 昭大
- (四) 人 絹
- Becker, F.: Die Kunstseide. Halle. 1912.
- Mehnerf, W.: Welproduktion und Ab-  
satz von Kunstseide. Wirtschafts-  
dienst. 1926.
- Reithaler, F.: Artificial Silk. London.  
1928.
- Sivern, K.: Die Kunstseide Seide, ihre  
Herstellung, Eigenschaften, Verwen-  
dung. Berlin. 1912.
- (五) 毛 織
- 岡部武道 世界纖維資源の地理的分布  
興波書店 昭十回
- 中野竹四郎 纖維と纖維工業の地理的分布  
地理教育 五ノ二六一五
- 横山又次郎 世界の毛皮經濟 地學雜誌 三  
(XIV-517)
- Bergen, A.: Die Agaven. Jena. 1915.  
295 S.
- Berthold, H.: Die räumliche Vertei-  
lung der Flachswirtschaft. Diss.  
Köln 1930.
- Bonsack, F.: Die Versorgung der Welt  
mit Jute unter besonderer Berück-  
sichtigung der wirtschaftsgeographi-  
schen Grundlagen. Bitch. d. Faser-  
forschung. Bd. IV. Leipzig 1929. 212  
S.
- Chapman, S. J. and D. Kemp: The  
War and the textile Industries.  
Journal of the R. Statist. Society  
LXXVIII 1915.
- (Herget, P.: La géographie des textiles.  
La G. 1911.
- Trimow, W.: Der Kapok in der Welt-  
wirtschaft. Christians Volkswr.  
Büch. Nr. 10, Berlin 1928.
- (Tutschke, E.: Die Anbauversuche der  
Jute. Berlin. 1934.
- Kortcsz, A.: Die Textilindustrie stant-

licher Straken. Braunschweig 1917.  
Kortez, A.: Die Textilindustrie südlicher Staaten. Braunschweig 1917.

Koch, C. J.: Die wirtschaftliche Bedeutung der Halbpflanze. Tropenpflanzer, 1914.

Kulmer, R.: Der Flach, seine Kultur u. Verarbeitung. 3. Aufl., Berlin 1920. 171 S.

Leiter, H.: Die Leinen-, Hanf- und Juteindustrie. Wirtschaftsgeogr. Karten u. Abb. z. Wirtschaftsgeogr. v. Österreich-Ungarn, II. 16, Wien 1916.

Milchotte, F.: L'agave, culture et exploitation. Paris 1914.

Notcutt, L. A.: Sisal economies. London. 1923.

Schäfer, H.: Die Produktion von Kautschuk und dessen Stellung in der Weltwirtschaft. Beih. z. Tropenpflanzer, Berlin 1925.

Schaub, M.: Standortverschöbung in der Juteindustrie. Diss. Kiel. 1925.

Schaub, M.: Standortverschöbungen

in der Juteindustrie. Diss. Köln 1925.

Tobler, Fr.: Sisal und andere Agavefasern. Wohlmann-Brosch., Bb. 10, Berlin-Charlottenburg u. Leipzig 1931.

Uhlenmann, H.: Geographie des Orientpflanzens. Leipzig 1930. 135 S.

Wolf, R.: Die Jute, ihre Industrie und volkswirtschaftliche Bedeutung. Berlin. 1913.

Zandervan, H.: De aardrijkskundige verhouding en productie van den vliesteele. Cultuur, Haag N.N.X. 1917.

(一) 全 域  
二 日 本

赤木 健 纖維工業現狀に關する 札幌

農林學會報四

片山 英 米國人絹業と我國輸出生糸の相廻性 蠶糸絹濟六(四一-69)

割田 勝三 人絹と綿糸の生糸のステープル・フイバー 拓務時報四(四九)

岸 武八 メリヤン工業に關する調査 工業調査彙報八(NII-2)

小林重幸 我が國マン工業の發展性 地理學七卷 昭一四

幸田清喜 製織地域の濕度と風に就する 地理學五卷 昭一二

菊田太郎 纖維工業と勞働 經濟論叢三 三〇四

井島重保 羊毛の研究と本邦羊毛工業 光弘堂 昭四

丸山國雄 幕末開港期に於ける生糸貿易の展望 史學雜誌一二

村松繁樹 溝口久春 製糸業の立地條件 新地理一〇四

美野口時次郎 日本綿布進出の經營的及び社會的背景 社會政策時報一八〇・一八一 昭一〇

大山敷太郎 維新當初の外人の我が製糸方法改良意見 經濟史研究四(NIII-5)

柴田銀次郎 棉花の移動系統 海運八(一五九)

澤野好三 人絹及人絹業の研究 文雅堂 昭二

津田秀郎 我國に於ける麻の供給 地球一〇(NIV-4)

徳増樂太郎 製糸工業の地方分布と生糸輸出港 生糸經濟研究三 昭三

十坂高興 蘭の移動性と蠶業經營 帝國農會報(一九一) 昭四

梅浦健吉 羊毛工業 現代日本工業全集

第九卷 日本評論社 昭一〇

山崎禎一 生糸工場の分布と生糸の輸出

山田勝次郎 米と蘭の經濟構造 岩波書店

昭二三

躍進する紡績十社 日本と中

南米 九月 昭二五

織工業問題 社會政策時報

(一七五) 昭一〇

Shuzuki Shinichi, The rayon industry in

Japan. Jeon. (Geography. 11. 1935.

(二) 地方別

河田嗣郎 福島山形二縣の製絲業 經濟

論叢 五ノ二

同 群馬縣の製絲業 經濟論叢

五ノ二

吉田良太郎 群馬縣の製絲業と絹織物業

地理教育四ノ二 六一五

山口貞雄 野州大麻の生産地域 地學雜

誌一〇 (N.I.V.-524)

桐生機業史論 一橋會雜誌

一〇一

原喜三郎 秩父銘仙に就て 地理と歴史

三 (IV-3)

小倉惠祐 郡内機業の地理學的概観 地

理教材研究第一一輯 昭三

河田嗣郎 長野縣の製絲業 經濟論叢四

ノ四

樹田一二 信州飯山平の冬籠期に於ける

製絲及蠶表の生産地帯に就いて 大塚

理學會論文集一 昭八

三澤勝衛 諏訪製絲業の地理學的考察

地理教材研究第二輯 六一一

同 諏訪製絲業發達の地理學的意

義

武見芳二 新潟縣栃尾織物の發生的研究

齋藤先生古稀祝賀記念論文集

幸田清喜 石川縣絹業地帯の工業地誌的

研究 大塚地理學會論文集二ノ上 昭八

市川 波 福井縣下絹織物工業に就いて

の地理的考察 地球三・四 (N.I.V.-5)

福井縣に於ける人絹機業につ

いて 日本銀行調査局 昭六

牧野信之助 福井地方羽二重業の發達 歴

史と地理一ノ六 六七

酒井又治 注目すべき北陸の紡績新工場

ダイヤモンド 二〇ノ一 昭七

小原敬士 濱松市附近の輸出絹織物工業

地理學六 昭一三

南川慶治 三河織物と其の勞働事情 社

會政策時報一七五 昭一〇

柴田才一郎 愛知縣紡織業の現状と將來

中央銀行通信錄 二九一—三〇一 昭三

服部貞雄 尾西地方の羊毛工業に就て

中央銀行會通信錄 三六九 昭八

田中秀作・秋山恒士 大桓を中心とする織

維工業の立地論的研究

芳谷有道 長濱縮緬機業の發達に就て

彦根高商論叢 一一・二 昭七

同 長濱天鷲織機業の研究 彦根

高商論叢 一七 昭一〇

中山修一 丹後機業(主として縮緬機業)

の現状と其の立地因子 東山論叢 二 昭

二五

銀行調査局 丹後に於ける縮緬機業 日本

穰業三五 丹後機業沿革調査書 内國稅

木下準之助 家内工業としての丹後縮緬機

業 社會政策時報 一七五 昭一〇

木下準之助 家内工業としての丹後縮緬機

業 地理學評論 二ノ二・三 六一五

喜多又藏 世界的綿業都市としての大阪

商業及經濟研究 五四 昭四

北村榮二郎 紀州ねる業の研究 國民經濟

雜誌 二四ノ四

佐藤明・前川嘉一 中小工業の實態—泉南

綿織物業—京大經濟調査所第一集 有

斐閣 昭二四

米井幸一 博多織の研究 明治學院高商

論叢五

青木米三 家内工業としての久留米緋

社會政策時報一七五 昭一〇

三、中 國

(一) 綿

(A) 全 域

馬場鐵太郎 支那の綿業 上海 六一〇

小林一馬 民國十四年度中國紡績工場の

調査 臺灣時報八〇號 六一五

駒井徳三 支那棉花改良の研究(支那産

業研究叢書第一册) 上海、六八

在華日本紡績同業會上海支部 棉花及綿布

に關する統計 昭一三

Anderson, (George H.): Cotton-goods

trade in China. Washington 1911.

Chinese Cotton Mills Association: Com-

plete list of cotton mills in China.

Shanghai, 1933.

Kings, S. T. and Iden, D. K.: China's

cotton industry. Shanghai, 1929.

Mohr, H. Y.: Reconstruction of Chinese

of cotton mills with the aid of Amer-

ican capital. 1934.

Ting, Leonard G.: Recent develop-

ments in China's cotton industry.

Shanghai, 1933.

袁 鴻 論我國之新式紡績業 東方雜

誌一六ノ四、民國八ノ二

才 顯 延 中國之棉紡織業 商務印書館

上海、民國二三、一一

馮 和 法 日本在華之棉織品市場及其勢

力之消長 國際貿易導報二ノ一二

吳 知 鄉村織布工業的一個研究 商

務印書館 上海、民國二五

同 最近全國紡織工廠之調査 東

方雜誌一四ノ五、民國六・三

(B) 北 支

濱 正 雄 山東紡績業の概況(北支經濟

資料第一二輯) 滿鐵天津事務所調査課

昭一一

三昌洋行 天津地方の紡績の現状と將來

昭一三

滿鐵天津事務所調査課 河北省棉産調査報

告書(北支經濟資料第三五輯) 昭一二

同 北支那に於ける棉作地農村事

情(河北省通縣小街村) 昭一一

滿鐵北支事務局 天津棉花需給統計 昭一

二

同 北支紡績業基礎資料 昭一三

同 山東綿業調査報告 昭一三

滿鐵調査部 北支棉花綜覽 昭一五

東亞産業協會 天津の棉花市場に關す

昭一〇

(Hasegawa, K.: Le coton dans la

Chine du Nord. La C. N. T., 1932, 76it.

Fong, H. D.: The growth and decline

of rural industrial enterprise in

North China. Tientsin 1933.

曲 直 生 河北棉花之出産及販運(社會

研究叢刊) 商務印書館、上海、民國二

〇ノ四

徐 經 傑 靈寶棉業調査及分級研究之結

果 國際貿易導報 七ノ五、民國二四

〇五

華北棉花栽培問題 國際貿易

導報八ノ二、民國二五ノ二

洛陽縣棉業調査與產地檢驗

國際貿易導報六ノ一一、民國二三ノ二

(C) 中 支

鍾 貴 陽 上海華商紡紗業 上海通志館

期刊 一ノ四

蔣學楷 浙江省之棉業 國際貿易導報

五ノ七、民國三二ノ七

(二) 絹

(A) 全 域

河西大彌 支那蠶業視察報告書 大五

鴻巢 久 支那蠶業の研究 大八

大阪市商工課 支那の蠶糸業と生糸貿易

(支那貿易叢書第三輯) 六一三

上海商務印書館事務所 支那絹業現況調査

鐵調査月報一三ノ一、昭八

支那經濟社 支那の蠶糸業 六一〇

宇田米夫 支那輸出生糸の過去及び現在

地理學七 昭一四

Fong, H. D.: China's silk reeling in-

dustry. A survey of its develop-

ment and distribution. Monthly

Bull. on economic China (Tientsin),

7 (12). 1934.

Kola Li.: Die Seidenindustrie in China.

Christians Volkszw. Buch II. Berlin

1927. 98 S.

Siao, T. T. Die chinesische Seidenin-

dustrie. Leipzig. 1929.

元 華糸全國際市報 國際貿易導

報二の九、民國二〇

嚴 曙 東 中國蠶糸業的現狀 時事月報

四ノ二、民國二〇ノ二

百 英 中國絲業の危機 東方雜誌二

八ノ一、民國二〇ノ六

繼 顧 繅絲業調査 東方雜誌二二ノ

一八・一九 民國一四ノ九

錢 大連 中國蠶糸問題 上海、民國二

五ノ一〇

中國蠶糸產地分布 經濟研究

一ノ九、民國二九

(B) 北 支

吳 英 若 周村一帶糸織業調査報告 山

東建設月刊四ノ一

經濟討論處 山西蠶糸業情況最近調査

中外經濟週刊一二八 民國一四ノ九

(C) 中・南支

有 吉 明 江蘇浙江兩省に於ける機械生

糸工場 通商公報三五〇 大五

滿鐵上海事務所 杭州に於ける生糸及絹織

物事情 昭一四

上原重美 支那江浙地方に於ける繭取引

内外商工時報 六ノ四 大八

Howard and Ruswell: A survey of the

silk industry of South China.

Shanghai International Testing House:

Survey of the silk industry of Cen-

tral China by the Shanghai Inter-

national Testing House of the Uni-

ted States Testing Co. Inc. under

the auspices of the Silk Associa-

tion of America. Shanghai, 1925.

顧 青 虹 浙江省業樹品種之研究 中華

農學會會報 一四二・一四三

錢 兆 熊 商業資本操縱下の無錫蠶業

中國農村一ノ四 民國二四

同 民國六年上海絲茶貿易之概況

東方雜誌一五ノ九 民國七ノ五

同 上海生糸貿易及其輸出商 商

業月報一〇ノ五 民國一九五

同 蘇浙糸廠業現況 國際貿易導

報五ノ一二 民國三二ノ一二

(三) 羊 毛

久重福三郎 支那の羊毛に就て 六一三

滿鐵經濟調査會 中華民國羊毛事情 昭一

〇

Ghim, Ghien Yin: Wool industry and

trade in China. Tientsin, 1937.

Taylor, J. B.: The possibilities of a



rural wooden industry. Shanghai, 1931.

白 濤 中國の羊毛業 商業月報一五

ノ四 民國二四

張 漢文 中國羊毛工業概況 紡織周刊

一八七 民國二三

柳 培潛 上海之毛織工業 國際貿易導

報五ノ一一 民國二二

毛織物業調査 東方雜誌二二

ノ二一 民國一四

中國之羊毛 東方雜誌一六ノ

五 民國八

(四) その他

安齊庫治 包頭の絨毯業 滿鐵調査月報

一九ノ五 昭一四

外務省通商局 山東麻の生産及輸出狀況

通商公報三〇五 大五

岸 武八 滿州に於ける紡織業の近況

工業調査彙報 一〇ノ三 昭八

工藤幸劍 工業分布上より見たる支那絨

維工業 拓殖文化一三ノ一 昭八

白石幸三郎 支那に於ける紡織業の過去及

び將來 地理教育二八 昭一三

高木英彦 支那絨毯考 昭一一

著書論文目錄

田中 博 支那の織維工業原料 神戸高  
商貿易研究叢報月刊 昭一四

Barker, A. F. and Barker, K. C.: The

textile industries of China: Their

present position and future possi-

bilities. Shanghai. Textile Depart-

ment, Chiao tung University. 1934.

Leitch, Gordon. B.: Chinese rugs.

1927. 1928.

周 璉 中國羊麻之産銷及出口貿易概

況 國際貿易導報四ノ五 民國二一

中 德 我國針織業概況 商業月報

一五ノ二 民國二四

人造絲工業 工業中心二ノ四

・五 民國二二

四 アミア (日本、中國を除く)

Cassels, W. R.: Cotton: an account of

its culture in the Bombay presi-

dence. Bombay 1812.

Günther, A.: Der indische Baumwoll-

bau, Verbreitung und Klimatische

Lebensbedingungen. Diss. Leipzig.

1911.

Holler, H.: Seiden industrie und Sei-

denhandel im Orient. Jena. 1922-  
23.

Jung, Fr.: Die indische Textilindust-

rie als Industrie eines Kolonialen

Rohestofflandes. Probl. d. Weltw.

Univ. Kiel XIX, Jena 1931, 379 S.,

Abb.

Neustrow, S. S. u. Nikitin, W. W.: Die

Biden der Baumwollgebiete Tur-

kistens. Moskau 1926.

Pearse, A. S.: The Cotton Industry of

Japan and China. Manchester 1920.

Pflizner, J.: Der Ozeanische Welt-

bewerb auf dem Textilmarkt. Ber-

lin. 1919.

Schinz, m.: Die Baumwolle in Russisch-

Asien. Beih. Tropenpflanzer XV,  
1914, 1. 134 S.

Soskin, S.: Die Baumwollkultur in der

Klimatischen Ebene und ihre Aus-

dehnungsmöglichkeit. Tropenpfl.

XIX, 1916.

アミアロン

佐々木清治 英國綿業の經濟地理的意義

一五三

地理學研究ノ五 昭六

- Attwood, R. S.: The localisation of the cotton industry in Lancashire. *Icon. J.* IV, 1928.
- Besso, L.: The cotton industry in Switzerland. *Bader, L.: British colonial competition for the American cotton belt. Economic* (teogr. III. 1929).
- Camara de Comercio: *Sabadell y su industria textil y Ganera. Sabadell. 1929.*
- Chapman, S. J.: The Lancashire cotton industry. Manchester. 1904.
- Fabrarino, E. A.: Deutschlands Baumwollsorten. Jassen. 1917. 119 s.
- Forrester, R. B.: The cotton industry in France. Manchester. 1935.
- Geldern-Christpendorf, G. v.: Die deutschen Textilindustriegebiete, ihre wirtschaftsgeographische Betrachtung.
- Goldberg, J.: Die Standorte der polnischen Textilindustrie und ihre Lokalisationsprobleme. *Wirtschaftsgeographie*, II. 3, Berlin. 1934. 42 s., K., Lit.
- Grantoff, A.: Die Abwanderung der Seidenbauern in Europa. *Tropentl. XIX* 1928.
- Hanus, W.: Die Seidenraupenzucht in Venedig. *Jenn. 1920.*
- Henderson, W. O.: The Lancashire cotton famine. 1861-65. *Manch. Univ. Press. 1934.*
- Loftmann, R.: Ein Werk des Vierjahrespbaus im vogeländischen Textilindustriegebiet. (teographischer Anzeiger. 1937, 38).
- Krusse, H.: Die deutsche Leinwandindustrie nach dem Kriege unter Berücksichtigung ihrer Zusammenhänge mit der röpischen Flachsindustrie. (Högan. 1928).
- Oberhinner, J.: Die Baumwollindustrie in Österreich-Ungarn. *Wirtschaftsgeogr. Karten und Abh. zur Wirtschaft von Österreich-Ungarn.* Hrgs. V. F. Hederich, II. 14, Wien. 1917.
- Ogden, H. W.: The geographical basis of the Irish linen industry. *Journal of Textiles Industries* XXII 1931.
- Ogden, H. W.: The geographic basis of the Lancashire cotton industry. *J. Manch. (IS NTH. 1927.*
- Pfeifer Knapp, F.: Die Standortfrage der Baumwollindustrie in Deutschland. Frankfurt. a. m. 1920.
- Seitz, O.: Ist Seidenzucht in Deutschland möglich? *Aus Natur und Museum. 1926.*
- Stempel, V. R. C.: Deutsches Baumwollhandbuch. 1928-29, Bremen.
- Tanbury, H.: Seidenbau und Seidenindustrie in Italien. Berlin. 1929.
- Tappen, J.: Der Weg der Jute von den Anbaufeldern Bengalens zur europäischen Spinnerei. *Zeitschr. f. Handelswiss. Forsch.* 19. 1925.

六 ア メ リ カ

市毛孝三 伯刺西爾に於ける綿業 内外  
 商工時報(一五ノ七)昭三

小原敬士 アメリカに於ける木綿工業の

發展とその地理的條件 研究論集 昭

二二

富田芳郎 メキシコ國オリサズ市の綿工

業に對する地理的解説 地理教育二ノ

六(六一四)

山脇正雄 ユーローの日本人と綿花 拓務

事報二(四十七)

—— 最近米國絹業事情概要 一ノ

—— ヨーロッパ海外生糸事情事務所

—— 織維品市場とこづの中南米

—— 日本と中南米九月 昭二五

—— 中南米の棉花—今年度生産高

の見通し 日本と中南米九月 昭二五

Albano, J.: Possibilities of cotton cul-

tivation in the state of Ceara. Man-

chester 1922. 14. 5.

Bader, L.: World developments in

the Cotton Industry, with special

reference to the Cotton Piece good

Industry in the U. S. New York

1925.

Baillaux, G.: Baillaux: La culture du

cotton aux États-Unis. Brüssel 1923,

Ministere des colonies. Administra-

tion de l'Agriculture.

Ballard W. W. and Simpson, D. M.:

Behavior of cotton planted at dif-

ferent Dates in Weevil Control ex-

periments in Texas and south

Carolina. Washington 1925, U. S.

Dep. of Agr. Dep. Bull. No. 1320.

Bonin, R.: Le coton aux États-Unis.

La Nature, No. 2198, 1915.

Bonin, R.: Cotton Production and

Distribution, Season of 1914-15.

Washington 1915, Bur. of the Cen-

sus. Bull. 131 102 p.

Boyle, James Ernest: Cotton and the

New Orleans exchange; a century

of commercial evolution. Garden

City, New York.

Browne, W. A.: Agriculture in the

Llano Estacado. Economic Geogra-

phy. 18. 1927.

Brown, R. M.: Cotton Manufacturing

North and South. Econ. G. 1928.

Daniels, G. W.: American Cotton Trade

with Liverpool under the Embargo

and Non Intercourse-Acts. Am.

Hist. Rev. XXI, 1916.

Halle, E. v.: Baumwollproduktion

und Pflanzungswirtschaft in den

Nordamerikanischen Südstaaten.

Bd. I. 369 S. 13 d. II. 689 S. Leipzig

1903.

Heizmann, H.: Amerikanische Baum-

wolle in den letzten drei Jahr-

ahren sowie der Baumwollanbau

im britischen Weltreich. Beil. z.

Tropenpfl. XVIII 1918, II. 3 u. 4.

254 s.

Hubbard, W. H.: Cotton and the cot-

ton market. New York 1925. XII,

503 p.

Ingle, E.: A year of cotton and other

southern crops. Ann. Rev. of Revi-

ews III New York 1915.

Jones, Cl. F. u Rosenfeld, A. H.: The

cotton industry of Peru. Econ. G.

III, 1927, 507-23, Abb.

König, P.: Der Baumwollweltmarkt

in seiner Entwicklung während des

Kriegs bis zum Friedensschluss.

Berlin 1919. 160 s.

- Milksom, H. W.: Rohbaumwollkon-  
junktur in den Ver. St. von Nor-  
damerika 1914-24. Hamburg 1925.  
13s.
- Nyhus, P. O.: Cotton Production in  
the State of São Paulo, Brazil. U.S.  
Dept. Agr., Bur. Econ. Foreign  
Agr. I.
- Pasquet, J.: L'industrie du coton dans  
le Sud-Est des États-Unis. Ann. G.  
1920.
- Peurse, A. S.: Brazilian Cotton. Man-  
chester 1922.
- Predöhl, A.: Die Südwanderung der  
amerikanischen Baumwolle. Welt-  
wirtsch. Arch. 1929, H. I. Nr.: 29.
- Schanz, M.: Baumwolle in Brasilien.  
Tropenpfl. XIII. 1909.
- Schanz, M.: Baumwoll-Anbau, -Han-  
del und -Industrie in dem Ver. St.  
Von Nordamerika. Beihefte zum  
Tropenpfl. XV, Berlin 1915 Nr. 6.
- Smith, Br. B.: Relation between Wea-  
ther Conditions and Yield of Cotton  
in Louisiana. J. Agric. Research
- XXX. 1923.
- Utley, T. W.: An Examination of the  
cotton industry in the U. S. A.
- Vance, R. B.: Human Factors in Cot-  
ton Culture. Chapel Hill, N. C.,  
1929. The Univ. of North Carolina  
Press. 346 p.
- Vergez, G.-Fédon: La culture du coton  
aux États-Unis. Ann. G. XXXII,  
1923.
- Wellisch, Jr.: Wollzölle und Wollin-  
dustrie in den Ver. St. von Ame-  
rika. Stuttgart 1919. 96 s.
- Wilbur, H.: Cotton Manufacturing in  
the South. J. of Geogr. XXVI,  
Chicago 1927.
- Wingen, O.: Die Baumwollkress in den  
Ver. St. von Amerika, 1914-15.  
Weltwirtsch. Arch. X. 1917, II.
- White, J.: Transhumance in the Sheep  
Industry of the Salt Lake Region.  
Econ. Geogr. 1926.
- Cotton Production in the U. S.: (Crop  
of 1915. Washington 1916, Dept. of  
Commerce, Bur. of the Census. 28 p.
- Anonymous: Cotton in Tanganyika.  
Empire Cotton-Growing Corpora-  
tion's Assistance. African World  
130: 167. 1935.
- Ghindeau, R.: Les Irrigations du Niger  
et la Culture du coton. Ann. G.  
XXXI, 1922, 155-63.
- Golf, A.: Wollschafzucht in Südwest-  
afrika. Tropenpfl. XIV 1910.
- Harding, R.: Cotton in Australia; the  
possibilities and limitations of Aus-  
ralia as a cotton growing country.  
288 S. New York. 1924.
- Lamb, P.: The present position and  
prospects of cottongrowing in the  
northern province of Nigeria. Blin-  
phus. XIX, 1921, 469-74.
- × × × × ×

## 考古學關係

考古學關係に於て機業に關する論文目錄文を列擧することは數も少く、研究の方向も一部の資料に偏重してゐる傾もあつて、到底利用しうるものでないので、寧ろ考古學遺物中機業關係の資料の内容を示しながら關係論文をあげて行く方法をとつた。體裁上他との鈞合がとれないが、この方が一般の利用に適すると信じたからである。

## 大陸關係

先史時代に於ては、紡錘車が殆んど唯一の資料である。しかし、これらの遺物が眞に紡錘車として用いられたか否かは未だ確言できない。唯アンダーソン教授が、中國において現在用いられてゐる紡錘車と先史時代の石製紡錘車とが少しも違つぬものゝあると云つてゐる點をこゝでは指摘しつゝおろす。

J. G. Andersson, "Children of the Yellow Earth." London, 1934. p. 217. Pl. 19.

(松崎壽和譯『黃土地帶』昭一七 P. 300.

圖版第二二)

次に紡錘車の出土しつゝの主要な遺蹟の報告書を擧げしつゝ次の如きものがあつた。

J. G. Anderson, "Prehistoric Site in Honan." BAFEA. No. 19, 1947.

Margit Bylin-Althin, "The Sites of

Chi' Chia Ping and Lo Han Yang in

Kansu." BAFEA. No. 18, 1946.

李濟『西陰村史前的遺存』北京、民國一六

劉焯『河南濬縣大賚店史前遺址』

(『田野考古報告』、民國二五)

『城子崖』(中國考古報告集之二、民國二三)

『魏子宮』(東方考古學叢刊第一冊、昭四)

『赤峯紅山後』(同、甲種第六冊、昭一三)

『羊頭窪』(同、乙種第三冊、昭一七)

なお、西陰村に於ては、半截された繭らしきものが出土してゐる(李濟、前掲書。)

殷代では青銅器に鍍となつて附着せる織物による研究として Vivi Sylvan, "Silk

from the Yin Dynasty." BAFEA. No. 9,

1937. があつた。

漢六朝に於ては先ず全般的研究として、

原田淑人『漢六朝の服飾』(東洋文庫昭一

二二)

梅原末治『支那古代の絹織物に就つて』

(『東亞考古學概観』所載昭二二)

R. J. Charleston; "Han Textiles"

Oriental Art. Autumn, 1948.

Schnlyter Cunnani; "Notes on the

Origin of Chinese K'o-Ssu Tapestry."

等が主なるものとつてあげられる。

次に個々の資料は各地から出土しつゝの

樂浪

便宜上、發掘せられた順に關係遺物を出土

した古墳を擧げる。これらは報告書等の出版

されたもののみであり、他に未發表の資料が

多數存することを注意しておきたい。

1 貞柏里第一號墳 布帛

2 岡 第三號墳 布帛

以上『大正五年度古蹟調査報告』(朝鮮總督府)

3 玉田墓(石巖里第二〇五號墳)

冠殘缺、冠蓋繹殘缺、絹紐、菱形文絹殘片、絹殘片、鏡絹紐。

『樂浪』(東京帝國大學文學部、昭五)

圖版一〇〇、一一六、一一九〜一二五。

挿圖二二、三三〜三九。

原田淑人『漢代の絹織』(東亞考古學會、

『考古學論叢』一、昭三)

藤田亮策、梅原末治編著『朝鮮古文化綜鑑』

第二卷(昭二二)

圖版第四八、第十五圖。

4 梧野里第一八號墳 絹殘片若干

5 同 第一九號墳 絹布殘缺若干

以上二墳は『昭和五年度古蹟調査報告』第

一冊(朝鮮總督府) 圖版第七四、七五。

6 彩霞塚(南井里第一一六號墳)

絹布及麻布斷片

『樂浪彩霞塚』(朝鮮古蹟研究会 昭九)

圖版第八九。

7 石巖里第二〇一號墳

冠帽殘缺、絹製袋狀品、絹布裂、絹刺繡片、

綿布裂、

『樂浪彩霞塚』

圖版第二二三。

8 王光墓(貞柏里第一二七號墳)

冠殘缺、纓、絹織物殘缺、絹編物殘缺、

麻?織物殘缺、

『樂浪王光墓』(朝鮮古蹟研究会 昭一〇)

圖版第三六、三七、八六。

9 貞柏里第十三號墳

冠殘片、紗紐斷片、毛織物

10 貞柏里第一七號墳

織物斷片

『古蹟調査概報』樂浪古墳、昭和八年度

(朝鮮古蹟研究会)

11 貞柏里第十九號墳

冠帽殘缺?

12 石巖里第二一二號墳

紗帽殘缺、絹帶、絹布裂、楮覆黒布、土製

紡錘車、

以上二基は『古蹟調査概報』樂浪古墳

昭和九年度

『朝鮮古文化綜鑑』第二卷 圖版第四五。

13 石巖里第二五七號墳

冠、絹織物斷片、毛織物斷片、布帛斷片

14 貞柏里第四號墳

冠、織物斷片

以上二基は『古蹟調査概報』樂浪遺蹟

昭和十年度

圖版第一一、一。

15 石巖里第二二號墳

絹織物

『朝鮮古文化綜鑑』第二卷

圖版第四七。

16 石巖里第二一四號墳

絹帶、絹囊、絹結紐、繡紐

『朝鮮古文化綜鑑』第二卷

圖版第四五、四六、四八。

陽高

『蒙疆陽高縣漢墓調查略報』大同石佛保存

協替會、陽高縣史蹟保存會(昭一八)

小野勝年、日比野丈夫共著『蒙疆考古記』

(昭二一)

絹製品の遺存が豊富で、麻布も若干出土し

ている。細目は『略報』の出土品目録によつ

て知ることが出来る。遺骸の蒲團まきの上に

實際の竈がいられてあつたことは興味深い。

西域 コーンは樓蘭その他から織物の出土が

ある。

F. A. Andrews, "Ancient Chinese Fi-

gured Silks Excavated by Sir Arnel Ste-

in" Burlington Magazine, July-Sept.

1920.

Sir Arnel Stein, "Serindia." Pl. CXL

Ch. 0018. Pl. CXXVI f, T. XXII. G. 00

10. Pl. LV. T. XXII. G. 0010a.

Sir Arnel Stein, "Inner Most Asia."

Oxford 1928. Pl. XXX~XLV. 遺蹟考

L. G. 222.

ノ・ン・カン

"Comptes rendus des expéditions pour

l'exploration du Nord de la Mongolie."

Leningrad, 1925.

G. Trever, "Excavations in Northern

Mongolia." Leningrad, 1932.

W. Percival Yelfs, "Discoveries of the

Kozlov Expedition." Burlington Maga-

zine, April, 1920.

ワスケレシエースキ、チホーノフ「ノイン  
・ウラ古墳出土遺物の工学的研究」(露西  
亞の物質文化學院報告書、第一一册)。

江上波夫「北蒙古ノイン・ウラ古墳出土『  
新』の銘辭ある繻に就いて」(加藤博士還  
曆記念『東洋史集説』所掲『ユウラシア古  
代北方文化』再録)。

駒井和愛「蒙古ノイン・ウラ發見の漢代絹  
布に見ゆる『新神靈廣成壽萬年』の句に就  
して」(歴史日本「第二卷第二號」)  
梅原末治「漢代の植物文様に就いて」(古  
北方系文物の研究』所掲)

Pudence R. Myer, "A Reinterpretation of the Noin-Ula Embroidered Shoe-Sole," *Artibus Asiae*, Vol. X, 2, 1947.

西伯利亞エニセイ河流域、オグラクテイ (Oglakty) 古墓

タールグレン「南西伯利亞オグラクテイの  
漢代墳墓」(梅原末治『古代北方系文物の  
研究』所掲)。

以上は主に發掘によつて知られる實物の資  
料であるが、その他に繪画の中みられる資  
料として画像石機織の圖が二、三存在する。

關野貞「山東省に於ける漢代墳墓裝飾附圖」

## 第二四圖 孝堂山石室梁下面画像

### 第五二圖 武梁石室第一石

### 第一四六圖 東京工科大学蔵画像第六石

なお京都大學人文科學研究所所蔵の山東省  
滕縣の画像石拓本にも機織の圖がある。

## 唐代

この時期になると多數の資料が敦煌をはじめ、西域支那の各地からあらわれているが、それらに關する研究は殆んどなされていらないと云つてよい。たゞ原田淑人博士の二者が殆んど綜括的な唯一のものと云えるであろう。原田淑人『支那唐代の服飾』(東京帝國大學文學部紀要四、六一〇)

『西域發見の繪画に見えたる服飾の研究』(東洋文庫論叢四、六一四)

## 日本關係

次に日本關係としては先ず綜括的な研究として次の著書がある。

杉山壽榮男『日本原始織維工藝史』原始篇

土俗篇(雄山閣 昭一七)

繩紋式時代では織物の存在を立證する資料は無い。後の時代の紡錘車に似た遺物は少數あるが、紡錘車として用いられたか否かは疑問である。

彌生式時代では紡錘車が各地の彌生式遺跡

から盛に發見されてこゝに一つ一つ枚舉する  
いとまがないが、機織の遺物は大和唐古、駿  
河登呂の二遺跡より發見された。

『大和唐古彌生式遺跡の研究』(京大文學

部考古學研究報告第一六册 昭一八) 一

六五—六頁

日本考古學協會編『登呂』(毎日新聞社

昭二四) 六〇—二頁

太田英藏「登呂遺跡出土の織具—彌生式土

器時代の機織の復原—」(學藝「五ノ二

昭二三)は上記二遺跡出土の機織を復原

的に考察したものである。

布の實物殘片についての報告は次の二つであ  
る。

中山平次郎「須玖岡本の遺物」(考古學

雜誌「一七ノ八 昭二三)

島田貞彦「藁棺内新出の玉類及布片等につ

いて」(考古學雜誌「二一ノ八 昭六)

彌生式土器には器面や底部に布目を印するも  
のが屢々ある。

森本六爾「彌生式文化の紡織—底部に布痕

を有する土器の一型式—」(日本農耕文

化の起原「昭一六 所收)は主として尾

張西志賀出土土器の一類について述べた

ものであるが、彌生式の織物についても

簡単な概説を試みている。

古墳時代

石製・土製の有孔小圓板は、古墳・住居址・祭祀遺跡等から多数に發見される。これ等はおしなべて紡錘車と呼ばれているが、果してそのすべてが紡錘車であつたかは疑問であつて、鏡の模造品とする説もある。(高橋博士後掲書 一五一―一六頁)

織機の資料は上野上細井古墳發見の石製模造品が唯一のものである。

高橋健自「古墳發見石製模造器具の研究」

(帝室博物館學報第一冊 六八) 二八一―三〇頁

これについては上掲太田氏論文も論及している。

古墳から發見される布の殘片は未報告のものも含めてかなりの數に上つているが、綜括的な研究發表は皆無である。個々の報告書の記載も非常に簡單であるので、技術的な研究のために貨物を再検査する必要がある。たゞ

清野謙次・三宅宗愷「阿武山古墳の乾漆棺内に於いて發見されたる布片」(攝津阿武山古墓調査報告附録)のみは詳細な記述を試みている。

その他年代は不明であるが筑前宗像神社沖

津宮御金藏内遺物の中に雛形金銅製高機一具がある。

豊元國「官幣大社宗像神社津宮宮境内御金藏發見の金屬製造品に就いて」(考古學) 一一―一三

歴史時代のものとしては正倉院に於ける貨物から壁面その他にみる資料があるが、技術的方面の研究としてはまことに寥々としてゐる。

明石染入「飛鳥時代の染織文様と服制」

(「東洋美術」特輯、日本美術史二)

「寧樂時代の染織と服飾文様」

(「東洋美術特輯」日本美術史) 第三

「天平時代の染織について」

(「佛教美術六」)

石田茂作「奈良時代の染色技術」(奈良時代文化雜攷)

「天平古製の文様について」

「上代錦と我が上代錦」(學藝) 四〇八

太田英藏「瑞錦と我が上代錦」(學藝)

「上代錦とその作者」(正倉院文化)

「弘法大師將來徒陀敷子袈裟について」(東洋史研究) 昭二二・八

「東洋史研究」昭二二・八

佐々木信三郎「神護寺經經帙錦綾私見」

(川島織物研究所報告) 昭一八

次號豫告(三四ノ三)

日本上代に於ける乗馬の風習

小林行雄

未定……………直木孝次郎

チュルク族の始祖傳説について……………阿崎精郎

史料解説―ルースカヤ・ブラウダー……………河村盛一

學界動向(國史・民俗學)……………

著書論文目録・書評・その他……………

前號目次(三三ノ六)

北陸門徒の關東移民……………五來重

ジョン・ディッキンソン……………今津晃

のえらんだ道……………

宋代解州官營鹽業の構造……………池田誠

學界動向(西洋史)……………

資料紹介、書評、論文索引、その他……………



# 彙報

## 史學研究會

例會 十月七日(土)午後一時より市内西陣

川島織物工業株式會社において開催。先ず同社佐々木信三郎氏より、多數の標本・圖版を用い、「上代裂について」主としてその組織を中心に岡氏多年の研究に基く懇切

明解な解説を聞き、ついで同工場内を巡り西陣織その他機業の實際を見學、參會者一同興味ある有意義な半日を送つた。

### 大會

十一月四日(土)午前九時半—午後四時

於京都大學文學部第一教室

講演 午前の部

雲崗に於ける中期の石窟

京都大學 長廣敏雄

徳川社會風俗史における模倣について

富山大學 梅原隆章

分巡道の成立 山口大學 小畑龍雄

近世初期の村落構成—寛永五年鹿島半郡上野組人別帳に就いて

金澤大學 若林喜三郎

環濠集落論 大阪市立大學 村松繁樹

### 午後のお部

聖フランシスの宗教的運動について

上市高校 確井謙二

漂沙について

同志社高校 駒井義明

日清戦役とドイツの政策轉換の問題

名古屋大學 中山治一

唐代の土地問題と宇文融の括戸

九州大學 鈴木 俊

日本海の海運について

東北大學 古田良一

第二日 十一月五日(日)午前十時—午後三時

桂離宮、修學院離宮及び曼殊院見學

右の要綱により本年度の大會を行つた。四日には、總會を行い會則の一部改正及び評議員を改選、即日開票した。新評議員は表紙裏を参照下さい。

講演は遠來の發表者を加えて、多數の聴衆に深い感銘を興えたことは最大の收獲であつた。

更に、午餐會及び晚餐會では、評議員、地方委員、各部委員が同席し、今後の史學研究會の運営及び會誌「史林」について種々討議し、強力な今後の發展を期した。

第二日には、桂離宮、修學院離宮及び曼殊院見學を行い、手續上多少の制約はあつたが、このような機會をもつことの少ない地方の會員の方々に、喜んで戴いたのは、何よりの喜びであつた。

### 大谷大學關係

史學會結成準備會 五月九日 於會議室

今回國史學會、東洋史學會、佛敎史學會の三學會が密接な協力の下に、史學研究を進めるべく、聯合學會を結成の爲、三學會關係の教職員が集合して準備會を開いた。

第一回大會 六月十七日午後一時於會議室  
開會の辭 教授 日下 無倫

天ツ神と國ツ神—社會組織の問題に關聯して—  
教授 三品 彰英

「衛氣」について  
奈良博物館長 黒田 源次

閉會の辭 教授 諏訪 義讓

後、茶話會に移り、講師を圍み、質疑應答をする。

### 國史學會關係

新入生歡迎會並びに史蹟踏査 五月二日

三品教授引率、平山講師、學生十八名

宇治平等院、橋寺等見學の後、黄葉山、萬福

寺塔頭にて新入生歡迎會を催し、後又山内及び寶藏院を見學した。

**史蹟踏査** 日野醍醐方面 六月十日 藤島助教引率で、日野法界寺より、醍醐三寶院を見學した。學生十五名

**例會** 九月二十六日 於第一教室 最近國史學界の動向 特別研究生 山田 眞 史蹟踏査 山崎、水無瀬方面 十月九日 藤島助教引率、妙喜庵、大念寺、寶寺より 山上、酒解神社に至り、離宮八幡、關戸神社、水無瀬宮等を見學した。

**史蹟見學旅行** 北陸方面 十月廿一日廿二日 日平山講師引率、參加者十四名 吉崎別院より金澤市に至り、坂本・藤雨先輩の案内で市内見學、市立圖書館司書松本氏の説明で城址、尾山御坊址を踏査し、更に曉島敏氏の蒐藏寄贈せられる曉島文庫を見學し、兼六園を見學した。後、金澤別院で平山講師の御紹介で金澤大學若林氏から、加賀藩の農政に就て御話を伺ひ、岡氏を囲み懇談、夕食を共にし、翌廿二日永平寺に至り、同日夜京都に歸着した。

**本學年度輪讀會**、毎週火曜日、古文書、水曜日、令集解を輪讀している。

**東洋史學會關係**

**新入生歡迎會** 五月二十二日 於會議室 神田、諏訪、野上、水谷諸先生の、新入生に對する歡迎の辭および東洋學研究法についての訓話があり、新入生の自己紹介を行つて閉會した。

**神田先生學位授與祝賀會** 新入生歡迎會に引續き、神田先生の文學博士號授與を祝して、その祝賀會を行う。

**杏雨書屋藏書見學** 六月十三日 神田、諏訪、中田、水谷諸先生、研究室の如中、察見、學生五名、大阪十三の武田製藥工場内の杏雨書屋藏書を見學した。和漢洋の本草關係の稀觀書多數を閲覽し、特に證類本草の諸刊本の完全に蒐集されているのに一驚した。

**例會** 六月二十三日 於會議室 洛陽伽藍記の諸版本について 畑中淨園元朝文字と言語

——特に八思巴文字について—— 水谷貞哉

**佛教史學會關係**

**嵯峨方面史蹟踏査** 五月十九日 本年度春季史蹟踏査を行う。日下教授・藤島助教指導、研究室員學生十八名。嵐山天龍寺にて庭園、佛像等見學して後、嵯峨・龜山帝陵參拜し、清涼寺に於て本尊釋迦及び十大

弟子、四天王・地藏等の諸尊像、棲霞堂の阿彌陀及兩脇侍坐像を拜觀する。境内の寶篋印塔佛及多寶塔石、銅鐘等見學する。二尊院に向い本尊釋迦彌陀二尊の立像、法然上人足曳の影像、涅槃圖史料等見學し、後、千光寺に至る。保津川開發の恩人角倉了以氏の功績をたゞえ、往時を偲ぶ。夕五時嵐山にて解散した。

**龍谷大學關係**

**國史部會例會** 六月十五日(木) 一條兼良とその思想 講師 淺井 了宗

**佛教史部會例會** 六月十六日(金) 上代の佛教儀禮 研三 千葉 乘隆

淨土堂と行人 教授 小笠原宣秀

同 十月六日(金) 佛師康尚考 學二 大原 性宣

東洋史部會例會 六月十七日(土) カール・ラデツクの孫文傳 講師 三上 諦聰

新世界史の立場と東洋史 同 石濱純太郎

——宮崎市定・上原專祿兩先生の近著を拜見して——

同 十月二十一日(土) 晋の性格 研一 大庭 脩

白蓮宗と白蓮教の關連 教授 小笠原宣秀  
龍谷史壇第三三號發行 六月三十日

内容目次左の如し

簡易宿泊所としての唐代寺院の對俗開放

那波 利貞

道元の佛教史觀

二葉 憲香

秦の蜀地經營

大庭 脩

國史部會例會 十月十日(火)

部民制と奴隸制

學三 日野 昭

史蹟踏査 十月八日(日)

宮崎教授指導の下に、奈良唐招提寺にて堂

殿見學後、同寺所藏古經本を閲覽す。次で

藥師寺に赴く 參加學生二十數名であつた。

### 立命館大學關係

日本史講座 立命館大學歴史學研究室主催

七月十七日(月)

史前史と環鏡

藤岡謙二郎

日本國家の成立

三森 定男

十八日(火)

奴隸制の構造

前島 省三

奈良朝の政治と農民

北山 茂夫

十九日(水)

中世社會の我立

林屋辰三郎

中世社會の展開

高尾 一彦

二十日(木)

封建制と宗教

前田 一良

封建制と農民

岩井 忠熊

二十一日(金)

資本主義の成立

堀江 英一

資本主義の發展

奈良本辰也

二十二日(土)

近世に於ける國際關係

北村 敬直

資本主義の危機

前芝 確三

立命館大學創立五十周年紀念講演會

十月十四日(土) 午後一時 文學部八號室

歴史に於ける國家と民族

石母田 正

思想史の方法

松本新八郎

立命館歴史學會創立總會

十月二十八日(土) 午後二時文學部八號室

挨拶

奈良本辰也

講演 現代歴史學の諸問題

三田村泰助

古代の戀愛と結婚

林屋辰三郎

古代家族に就て

北山 茂夫

酒土倉と馬借車借に就て

藤井 寛次

野田 只夫

川井 尙

本原的蓄積に就て

野田 只夫

十月二十九日(日) 午後一時

中部・北陸方面調査旅行 八月二十一日―二

十五日

地理學同好會關係

大阪難波 精華小學校

奈良本辰也

平中 荅次

林屋辰三郎

駒井 正三

三宅長兵衛

木下 一

史前學會關係

見學

近江百穴古墳、南滋賀遺跡及び石山貝塚の

考古學と地理學との接觸領域 藤岡謙二郎

文化人類學の最近の動向 姫岡 勤

貝塚よりみた地形 酒詰 仲男

後、酒詰氏を圍んで座談會を行う。

其の他毎月の例會をはじめ、毎水曜輪讀會

(Growth: Man and his Past) を行つ

ている。

地理學同好會關係

中部・北陸方面調査旅行 八月二十一日―二

十五日

地理學同好會關係

中部・北陸方面調査旅行 八月二十一日―二

十五日

地理學同好會關係

中部・北陸方面調査旅行 八月二十一日―二

十五日

山口教授・谷岡助教授指導 参加者十六名  
京都―美濃白鳥―飛騨白川村―美濃白鳥  
(宿泊)―大野三番―福井―金澤(宿泊)―  
―福野―伏木港―富山―能生(宿泊)―糸  
魚川―中土―木崎湖―松本―淺間温泉―京  
都

夏期調査旅行報告會 九月十六日(土)

午后一時

中部北陸方面調査旅行の成果を發表した。  
諏訪伊那谷の先史地理(伊藤安男) 屋根の  
形態(山田安彦) 白川村(壇上安男・池野  
茂) 北陸路の工業(杉野秀一) 甲府盆地(  
龜田史男・藤本利治) 伊那谷(小林博) 賣  
薬行商(樋口節夫) 土族授産による開拓と  
三方原(谷岡武夫) 他。

淡路島方面調査旅行 九月二十二日―二十三

日

山口・谷岡・岩田先生指導左記コースによ  
り行う。特に江井町の線香工場は全國唯一  
のもので、マニファクチュアの生産方法の  
研究に好資料を得た。参加者三十名。

神戸―洲本 先 山 福良(一泊)

―鳴門海峡―福良―湊―江井―那家―志

築―神戸

地理學同好會發表大會並に總會

十一月五日(日) 午前九時

低濕地の土地利用(森田敬一) 南山城の山  
村(池野茂) 渥美半島の先史地理(青木良  
信) 江井町の線香製造工場(竹松定雄) 紀  
州みかん栽培の勞働力(中野榮治) 政治的  
社會的構造と地理學(小林博) 神奈川の農  
家戸數の地域的分折(山崎謹哉) 祖谷の土  
地利用(井澤俊雄) 大和の綿業(北村良  
三) 足子商人團の地理的考察(樋口節夫)  
米生産高の變化と大名の配置(藤本利治)  
天正檢地帳の地理的研究(島田豊壽) 生活  
地域構造(小野忠熙) モロッコの市場(岩  
田慶治) 甲斐條理の諸問題(谷岡茂雄・須  
藤賢) 北米東北部の交通系(山口 四郎)  
近畿地方の町(藤岡謙二郎)

尙地理學同好會および地理學教室一ヶ年

の研究成果を冊子にまとめ地理學研究小報  
(III)を發刊の豫定

京大國史關係

讀史會例會 九月廿七日(水) 午後三時より

史學科第二教室に於いて開催。次の研究發  
表があつた。演題及び要旨、左の通り。

上代氏族系譜の形成過程 上田正昭

一祖多氏の集中化をみる古事記分註系譜  
は、その二形式八分類の分析的研究から、  
壬申の亂を経て天武八色姓制定に到る律令  
國家形成の過程と密接に關係する事を明ら  
かにし、壬申の亂を是認する記の立場は紀  
と矛盾するものでなく、之には天武天皇勅  
語の意義が重視されるべきである。

山城國出雲郷について―古代の畿内型村落と  
して― 門脇禎二

族長的構成をとつていた前段階と、後の封  
建社會形成過程の見通しの上に、律令國家  
が直接に踏まえた古代の畿内型村落として  
神龜三年計帳より出發して出雲郷の歴史的  
動向を考察し、そこに亦すぐ後に現われ始  
める大土地所有を繞つての諸政策變換の必  
然性の一因を求めた。

秋季大會 十一月三日 午前九時―午後四時

於京大文學部第一教室  
講演 午前の部

大和來迎寺石塔群について 河原 純一

農政を中心として見た江川垣廐 植上 衛

中世末期の勸進について 村山 修一

所謂延喜天曆の治について 岩城 隆利

西美濃輪中地帯の歴史的研究 日置彌三郎

近世における佛教滲透の一例 田中 勝雄

遺跡と傳承

武藤 誠

午後部

切支丹宗論

小野三沙子

岡山城下に於ける旅宿制度に就て

水野恭一郎

明治維新の論争を中心として

奈良本辰也

賀陽國造家の歴史

藤井 駿

東海道分間之圖に關する史的考察

鍋島 直康

知恩傳について

井川 定慶

右の次第にもとずいてそれぞれ研究發表が行われた。當日は國史關係の先輩學生を中心に、多數の參加を得て非常な盛會であつた。閉會後荒神口の久爾邸の一室において、懇親會が開催された。

### 京大東洋史關係

東洋史談話會例會

十月十六日 於陳列館演習室

中世印度の農民 kumbhina の性格

佐藤圭四郎

大會

十一月三日

於京大人文科學研究所講堂

開會の辭 京那波利貞 池田 誠

宋初四川の均産運動 京都大學 池田 誠

廣東の鐵鍋について 京都大學 笹本重巳

沈氏農書における江南の水稲作農業

東京大學 古島利雄

南北朝の軍主隊主成主等について

岡山大學 宮川尙志

エフタル民族におけるイラン的要素

東京大學 榎 一雄

古契丹部族構成考 東北大學 愛宕松男

元朝の良魯の語義と制度について

京都大學 岩村 忍

ホラズムの遺跡

日佛學館 V・エリシエフ

舊唐書食貨志の史料系統について

九州大學 鈴木 俊

中國寺院の機構について

京都大學 塚本善隆

世界史の問題

岐阜大學 丹羽正義

閉會の辭 京都大學 宮崎市定

なお、閉會後同研究所に於て懇親晚餐會を催し、盛會であつた。

東洋史研究會 係

日本歴史學協會委員として本會より日比野

丈夫氏を推薦した。

十月四日、京大人文科學研究所會議に於て

東洋史研究第十一卷一號の合評會を行つた。

羽田亨博士頌壽記念東洋史論叢贈呈式

右論叢がいよゝ完成したので十一月三日

京大人文科學研究所講堂に於て羽田博士の臨席を乞ひ、盛大な贈呈式を行つた。

### 京大西洋史關係

西洋史讀書會 第五回例會

十月二日 於史學科演習室

G. J. Beer: The beginning of the British Colonial System.

小迫 邦男

第十八回西洋史讀書會大會

十一月三日 於京都大學文學部第七教室

(公開講演)

原 隨園

揆抄 クルユチエフスキの歴史觀

木崎 良平

清教徒革命の諸時期

星田 輝夫

獨逸學問界におけるギリシア意識

衣笠 茂

近世ヒューマニズムの起源について

鹽見 高年

フランス革命に於ける「獨占禁止」の問題

鈴木 泰平

原始ゲルマン民族の經濟活動について

三喜田熊藏

挨拶 井上 智男

公開講演會終了後文學部會議室にて懇親會を開催した。

### 京大人文地理學關係

#### 九月談話會例會

九月廿日 午後一時 於地理學實習室

山村人口移動の地域的研究 細井 淳一

近江の圃有工業について 内田 秀雄

#### 地理學談話會大會

十一月一日 午前九時

於 京大人文科學研究所

開會の辭 織田 武雄

道路網型態による人口流動傾向に關する

一考察 細井 淳一

クルド族の社會組織について 榎原 只好

越中射水平野の人文考 林 正巳

顧祖禹の地域觀 海野 一隆

自然堤防外側の土地利用の變遷—岡山縣萬

富村の場合— 石田 寛

本邦諸河川の中流部水溫 淺井 辰郎

氣候馴化の基礎問題(一) 和田 俊二

わたらの歴史地理學的考察 第二報 庄司 久孝

十六ミリ地理映画 伊吹大平寺、川崎 健史

江戸時代に於ける農家の世帯人員に就て

—松本藩二四四ヶ村の歴史地理的考察— 御子柴幸一

兼子 俊一

岐阜縣名森村の地割制度について 松井 武敏

薩南諸島の土地利用 三友國五郎

アメリカ極地の居住限界 宮川 善造

斐伊川東流以後の河道について 松本 博

題未定 内田 寛一

閉會の辭 吉田 敬市

### 京大考古學關係

#### 三重縣名賀郡石山古墳の調査

日本考古學協會古墳調査特別委員會の事業

の一つである、三重縣名賀郡依那古村石山古

墳の第三期調査は、去る八月五日から九月二

十三日まで、長期にわたり京大考古學教員

の参加によつて行われた。

本年度の調査の目的は、前年度までに完了

した後圓部及び墳丘外區の埴輪の調査に引き

つずいて、前方部における圓筒列の探究と、

明治十六年頃に村民によつて發掘されたとい

う、後圓部内部主體の確認とにおかれた。

さて、前者については、古墳をめぐつて三

段に配列された圓筒列のうち、上中二段のものが埴輪圓筒を密接して配列してあるに對し

下段のものは約一米四〇程の間隔で、それを

まばらに配置してある事實と、その圓筒列中

に楯などの形象埴輪をまじえている状態とが

明かにされて、前方後圓墳における圓筒列の

あり方について、注目すべき資料を提供し

た。

また内部主體については、まず後圓部の中

央に古墳の主軸と平行して、長さ約八米、幅

一米の割竹形木棺(木棺自身は腐朽し、その

外周を包んだ厚い粘土壁が残つている)があ

り、棺の中央部は過去の發掘によつて破壊さ

れていたが、なお棺内に九十個に餘る滑石製

模造器具や、珍しい鐵製小札草綴の冑一個な

どが残存していたほか、棺の内外からそれぞ

れ三枚ずつの楯が検出せられた。この楯の一

枚には巴形銅器が附着して、學界多年の

疑問の遺物であつた巴形銅器の用途の決定に

役立つたほか、楯自身が木製枠に張つた革に

糸でこまかな刺繡をほどこしたものであるこ

とが、精密な調査によつて立證されたことを

特記すべきであらう。

ついでその西側に、長さ三米七十程、幅七

〇程のやゝ小型の木棺が發見されたが、その

中からは總計六十四個に上る碧玉製車輪石・石劍・鐵形石の類をはじめ、多數の滑石製模造品や、鏡・勾玉・管玉・小玉・刀劍の類が原狀のまま檢出された。これらの二つの木棺が、形狀においても、副葬品においても、かなり著しい相異を示す事實は、二つの埋葬の先後の問題や、埴輪設置の時期と關聯して、特に調査者の興味をひいたところであつた。

京大人文科學研究所關係

常設人文科學講座

——ルソー綜合研究——

- 十月五日 人間ルソー 樋口 謹一
- 十月十二日 ルソーの政治思想 河野 健二
- 十月十九日 ルソーの教育論 杉之原壽一
- 十月廿六日 ルソー・プロバガンディスト 多田道太郎

- 十一月二日 コミュニケーション史上に於けるルソー 鶴見 俊輔
- 十二月九日 ルソーの文學 桑原 武夫

人文地理學會

- 大會 十一月二・三日前九時 於京都大學吉田分校(舊三高)新徳館
- 開會の辭 藤岡謙二郎

- 丹波高原の面 水山 高幸
- 景觀と風景心理學 稻垣 光久
- 石川の谷——その秋祭について 野村 豊
- 沖積地質學的編年の構想——南關東の先史地理學ノートより—— 神尾 明正
- 家島群島の經濟地理的調査 山崎 禎一
- 東印度諸島における人口移動 別技 篤彦
- 甲斐のヤグラ民家の形態とその分布 須藤 賢
- 近世農村の人口と家族構成 岩本 政教
- 丸龜市における縁組による人口移動 合田 榮作
- 伊島の開拓——藩政時代の人口移動に關連して—— 岸本 實
- 戰災都市神戸復興過程の一考察 稻見 悦治
- 都市の中心機能の圖式的考察——廣島縣の場合—— 堀川 侃
- 石川縣の土地利用 金崎 肇
- 戰災と復興——廣島市の場合—— 船越 謙作
- 九頭龍河谷の集落について 吉田 森
- 中世ロシアの都市について 藪内 芳彦
- 海と農村 西村 嘉助
- 東祖谷村に於ける交通路の變遷 福井 好行
- 河和川の漆器工業について 大西 青二
- 富山賣藥商業圈の移動 植村 元覺
- 部落通婚圈の研究——特に大槌島及島根半島漁村の場合—— 岩永 實
- 扇狀地開發の進行過程について 武井 鏡一
- バック・マーシュのへりに立地した中世の水田——高田平野東北部舟津・三分一の場合—— 龍瀬 良明
- 共同社會地域——奈良盆地二ヶ村の場合—— 樽松 靜江
- 壹岐島村落の基本構造 戸坂 博
- 地理學史の一こま——Monte Corvinoの見たいンド—— 金子 廉
- 高知縣の燒畑耕作 横川 未吉
- 山地開發に關する若干の調査——吉野川上流の場合—— 惠口 五郎
- 島原半島に於ける自給肥料について 隈部 守
- 灌漑地域と水利權問題について 奈良盆地管 堀内 義隆
- 田川流域—— 志摩半島に於ける製鹽業の氣候要因との關係—— 井上 啓男
- 湖沼漁業地理(霞浦北浦) 高橋 榮
- 鮎漁業について——琵琶湖生産地理研究—— 内田 秀雄
- 閉會の辭 織田 武雄

### 日本考古學協會關係

#### 總會

日本考古學協會の秋季總會は十月二八・二九兩日にわたり京都で開催され、約六十名の會員が全國から參會した。左にその日程のみを記す。

第一日 守屋孝藏氏蒐集考古學資料見學總會・懇親會

第二日 特別研究報告

古墳特別委員會報告 梅原末治・小林行雄・尾崎喜左雄・山本清

登呂特別委員會報告

繩文特別委員會報告

會員研究發表

新發見資料にもとづく赤穂郡の古代文化

石上神宮七支刀の銘文について

那馬縣稻川村墳塚の發掘

茶臼古墳出土土器

て

尾張三河における繩文土器文化より彌生土器文化への移行の様相

五島の遺跡調査概報

千葉縣稻原遺跡發掘報告

青森縣吹切澤遺跡について

吹切澤遺跡—繩文式文化に於ける編年的位置について

山西の彩陶と黒陶

中國古代に於ける青銅の素材價值について

なほ十一月二日には日本考古學協會と美術史學會との共同主催による公開講演會が大阪朝日新聞社で開かれ、左の講演があつた。

床の間の藝術

朝鮮古蹟調査の四十年

十月三十一日(火)午後一時より京大陳列館會議室にて、斯學の大先輩たる柳田國男・折口信夫の兩氏を圍む座談會が開催された。當日は日本民俗學について種々の示唆にとむ見解が提出され、また多數の熱心な研究者の參加をみて非常な盛會であつた。

加をみて非常な盛會であつた。

加をみて非常な盛會であつた。

日本中國學會關係

大會 於京大文學部第一教室

九月廿九日—第一日—

酒詰 仲男

江坂 輝彌

江上 波夫

江坂 輝彌

和島 誠一

關野 雄

田中 一松

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

藤田 亮策

開會の辭

殷代の祀序と世系について

併優起源考

易學の構造と其の展開

論易之三名

建安文學に關する一考察

棠陰比事の諸本について

性靈について

中國語の代名詞について

古代に於ける反語表現法を通じて見たる思辨方法について

中古漢語から中世漢語へ

原始儒教に於ける至誠論の成立について

上代中國の典籍に見えたる君子の思想

尙書孔子傳の訓話に關する考察

經學史上に於ける魏の王肅について

性情論の展開

性情論の展開

性情論の展開

性情論の展開

性情論の展開

性情論の展開

性情論の展開

性情論の展開

性情論の展開

吉川幸次郎

島 邦男

池田 末利

田口福司郎

今井宇三郎

網 祐次

波多野太郎

入矢 義高

高倉 克巳

赤塚 忠

戸田豊三郎

市川本太郎

水澤 利忠

加賀 榮治

伊藤 文定

清水 潔

福井 康順

松下 忠

松下 忠

松下 忠

松下 忠

松下 忠

松下 忠

松下 忠



一人兩姓致  
通人について  
山田 勝美  
中島 千秋

邵子觀物内篇の論理  
朱子思想のリガリズム性  
友枝龍太郎  
清水 信良

格物致知と華嚴學  
性を中心として觀たる命の性格  
荒木 見悟

閉會の辭  
天野 鎮雄  
木村 英一

### 東方學會京都支部關係

例會 於人文科學研究所講堂 九月廿三日

佛敎の研究について  
「マルコポーロ」テキストの系譜  
長尾 雅人  
岩村 忍

### 東方學術協會關係

大阪例會 六月廿一日 於大阪俱樂部

日本古建築の鑑賞  
村田 治郎  
京都例會 七月十一日 於京大人文科學研究所  
中國漫談 內山 完造

### 自然史學關係

例會 於人文科學研究所會議室

九月十六日  
トルコ民族史の諸問題 羽田 明

### 口繪 解說 圖版五

繰屋仲間百二十三人返答書

(寶曆三年覺帳 杭全神社藏)

當郷繰屋仲間綿實中買共願被攝

訴詔返答書

乍恐以書付返答奉言上候

一、當郷油屋并綿實中買中當郷繰屋之出來  
綿實右中買中へ買取他所賣不仕候様御願被  
申上依之御當地繰屋共右之様子御尋被爲成  
差梅も無之義候哉返答仕候様被爲 仰付難  
有乍恐書付を以奉言上候

一、繰屋商賣之儀當郷第一之儀ニ御座候故繰  
屋家數甚多御座候其外百姓くり杯大分之儀  
ニ御座候然れハ綿實ハ夥敷事ニ御座候殊綿  
實之儀ハ繰綿商賣過半之助ニ成候義ニ御座  
候得ハ高下相考何方へ成共直段宜敷方へ賣  
申候事古來より之御事ニ御座候然ル所當地  
中買中へ斗賣申候而ハ時々綿實不捌之節ハ  
夥敷差支多繰屋難儀仕候若ク様之節他所へ  
得賣不申候而ハ殊之外商賣不勝手ニ罷成候  
其上當地中買被申合思之儘ニ相場被相立候  
連茂無是非候尤大阪方日々ニ相庭取寄候と  
の義是又商賣之筋ニ而如何様ニ茂被申合候  
品も無覺東奉存候其上油之相場綿實之相場  
引合不引合御座候得ハ分明ニ油之相場を以

綿實之相場ハ相知不申候殊ニ大勢之繰屋共  
方毎日大阪油相場聞合綿實賣申扨と申儀者

一向難儀御事ニ御座候凡繰屋商賣之儀者當  
郷大半ニ掛り其外是ニ而渡世仕候者難斗候

讒之油屋中買ニ大分之綿實を賣口被搦候而

ハ不勝手難儀仕候事乍恐一事を以餘ハ御

賢察被爲成可被下候然者讒之油屋中買大分

之くり屋共外百姓繰之綿實ニ御座候得ハ惣

分之差搦當郷之衰微之様ニ相成可申と奉存

候商賣之儀ニ御座候得者古來之通廣ク仕

候様被爲 仰付被下候ハ惣繰屋并百姓等ニ

至迄御慈悲難有可奉存候以上

寶曆三酉年八月

馬場町 泥堂町

八名 十一名

西脇町 セト口町

一五名 二十二名

西町 流町

二十名 二十四名

野堂町

二十三名

御地下

數御年寄中様 但惣綿候

當文書は攝津平野郷町杭全神社に保存され

ている、實永より幕末に迄及ぶ莫大な覺帳の一節である。

本文は寶曆三年七月平野郷綿質中買と油屋仲間との返答状である。綿質は、江戸中期以後攝河に於ける綿作の發展と平行して、菜種と共に人力稼、水車稼により搾られる油及油粕の重要な原料であつた。綿織りの副産物として繰綿商賣過半の助けになると記されてゐるように、かくも重要な綿質の賣買に關し、繰屋仲間、百姓繰りの自由賣買の要望と、油屋及び中買商人の獨占買付け要求とが對立している。後者の訴狀によれば、中買が繰屋と油屋の間に立つて綿質を扱うのが古來よりの仕來りであり、彼等は又百姓が當地に持ち込んだ吹綿から出來た綿質や、大阪三郷や近國他國からの綿質をも、買取る事が出來たらしい。しかるにこの寶曆頃に、大阪には、買付けに關して獨占的な大阪油屋仲間が出來、又平野への綿も量を減じた事から、平野の油屋・中買は自らも又獨占的に平野郷の綿質を買付けなければ立ち行かないようになった。これに對し繰屋は中買に賣口を獨占される事は綿質價格を彼等に決定される事になり、いきおい價格の下落を覺悟せねばならないから、そ

うした油屋等の要求に對しては勿論、大阪の油の時價を見て綿質の價格を考慮しようといふ妥協案に對してさえも眞向から反對せざるを得なかつたのである。この對立こそ幕末に於ける都市商人的ギルド的強制とそれに對する農村企業の自由への要望との矛盾の激化に他ならない。當地油屋中買を獨占へとかり立てた要因が農村における百姓繰の發展にあつた一例えば「三拾年以前迄八百姓自分ニ木綿繰申儀會テ無之」(中買訴狀の一節)一如く、又繰屋が百姓繰と共通の利害の上に立つてゐる「繰之油屋中買大分之くり屋其外百姓繰」(本文)一如く、彼等が古き繁雜な封建的商業機構を破壊して一步一步自らの新しき自由な生産機構を農村に打ち立てて行つた一つの道標に他ならない。

### 編輯後記

本號は最初「近代化の經濟的基礎」というテーマで特輯する計劃であつたが、諸種の事情ではじめの意圖を、十分には果し難い結果になつてしまつた。特に中國・印度その他所謂東洋に於ける此の問題についての論稿を得られなかつたのは残念であつたが、太田英藏氏によつて、中國古代紡織技術に關する問題

作をのせる事が出來たし、日本西洋に於ける問題については、若い人達の方ある論文を收め得た。思うに、封建社會の諸種の束縛と闘いながら、社會を押し進め得た農民を描き出す事は、史林の歴史をふり返つて見て、餘り例のないことではなからうか。とも角、讀者諸氏の批判を賜われれば幸いである。  
なお次號より、會員諸氏の積極的なる投稿をお願いしたい。

### 史 林 (第三四卷 一、二合併號)

一九五一年一月二十五日 印刷 定價一四〇圓  
一九五一年二月一日 發行

編輯 京都大學文學部内 史學研究會

代表者 織田武雄  
發行所 大阪市東區南新町一ノ六 岸本貞三郎

印刷所 京都市右京區太秦上御所町一〇 大日本印刷株式會社 工場

發行所 株式會社 教育タイムズ社  
大阪市東區南新町一ノ六 振替大阪七一九二〇番